

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	商業振興対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課			
	<b>項</b>	商工費		<b>連絡先</b>	(078)918-5098			
	<b>目</b>	商工業振興費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 45 年度	
	<b>事業</b>	商工業振興対策事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石商工会議所講習会・講演会事業及び研修会事業助成金交付要綱			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-1 商工業の振興	<b>実施方法</b>	直営	<input type="checkbox"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>	商業振興基本計画		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内の比較的小規模の商工業やサービス業を行う者等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	小規模事業者に対して経営改善指導や各種相談等を実施。また、人材育成や技術力向上のための研修会・講習会を行い、中小企業者の経営安定と発展を促進する。また、商業振興基本計画に基づく施策を実施する。
<b>事業内容</b>	①中小企業経営指導事業委託	明石商工会議所に委託し、中小企業経営者のニーズに応えるために、経営指導員、記帳指導員等により、金融、税務、経理、経営、労働、社会保険、取引、法律等についての個別巡回指導や窓口指導を実施する。また集団指導として、各種講習会、講演会を開催する。 ※実績 委託料           平成25年度   平成26年度   平成27年度 3,500千円   3,500千円   3,500千円(予算)
	②明石商工会議所講習・講演会事業及び研修会事業助成金	明石商工会議所が実施する、商工業者を対象にした講習・講演会事業および研修会事業の費用について補助を行う。 助成額:対象経費の50%、上限80万円 ※実績 補助金額       平成25年度   平成26年度   平成27年度 800千円     800千円     800千円(予算)
	③若手商業経営者交流研究事業	明石商工会議所に事業委託し、学識者を招へいた講演会の開催や先進的な商店街の視察等を行い、町衆明石を中心とした市内の若手商業者の研修の場とし、育成を図る。 ※実績 委託料         平成25年度   平成26年度   平成27年度 451千円     581千円     600千円(予算)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,983	5,810	10,793	0	0	0	10,793	正規	0.40	パート	0.00
26当初予算	5,291	2,460	7,751	2	0	0	7,749	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	5,463	2,460	7,923	2	0	0	7,921	任期付	0.00	合計	0.40
27当初予算	8,799	3,280	12,079	2	0	0	12,077				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	236		236	報償費	委員謝礼
委託料	中小企業経営相談事業委託費、若手商業経営者交流研究事業	4,288	4,288	旅費	近接地旅費等	250	
負担金補助及び交付金	明石商工会議所研修会事業補助、負担金等	853	853	委託料	中小企業経営相談事業委託費、若手商業経営者交流研究事業、商業振興基本計画策定見直し業務委託等	7,108	
その他	消耗品費、使用料	86	86	負担金補助及び交付金	商工会議所研修会事業補助、負担金等	852	
				その他	消耗品費、食糧費、備品購入費、使用料	115	
	<b>合計</b>		<b>5,463</b>		<b>合計</b>	<b>8,799</b>	

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-001	事務事業名	商業振興対策事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	経営指導事業実績数	個別指導実績件数	件	404件	473件	450件
		集団指導(講座、セミナー)回数、参加数	講座、名	11講座、482名	8講座、357名	10講座、400名
	講習、講演会、研修事業実績数	講座・講演会等開催数、参加人数	回、名	7回、359名	7回、300名	7回、350名
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×			
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業内容や効果を精査した上で、委託料及び補助金の削減も含めて事業の充実について明石商工会議所と協議を行っていく。						
<p>①中小企業経営指導事業委託 平成26年度より、個別指導として「店舗相談」業務を新たに実施した。 今後も、現在のニーズを分析し、より現状に即した事業の実施を求めていく。</p> <p>②明石商工会議所講習・講演会事業及び研修会事業助成金 講演会・研修会等については、概ね参加者が多いが、参加者の少ない事業については、内容や募集方法の見直しを行い、高い効果を得られるよう工夫を求めていく。</p> <p>③若手商業経営者交流研究事業 明石商工会議所に事業委託を行い、「町衆明石」を中心とした若手事業者を対象にした研修事業を実施しているところである。 研修事業が、団体としての交流・研究の機会となり、明石の街の活性化に資する取組みに活用されている。 今後は、研修事業の成果を会員自らの商売や商店街の活動にフィードバックさせることが必要となる。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	観光市民トイレ助成事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 002	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課		
	<b>項</b>	商工費	<b>連絡先</b>	(078)918-5098		
	<b>目</b>	商工業振興費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 11 年度
	<b>事業</b>	商工業振興対策事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市観光市民トイレ開放助成事業実施要綱		
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野	<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	○	その他
	3-4 観光の振興		委託	指定管理		
<b>個別計画</b>						

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市が観光市民トイレとしての開放を依頼して、同意したトイレの設置者又は管理者。
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	商業団体等が設置するトイレを不特定多数の市民、観光客等が利用できるトイレとして開放するために必要な経費の一部を助成するもの。

<b>事業内容</b>	<b>（助成内容）</b>	年度中の上下水道使用料の40%を助成
		<p>【平成25年度実績】</p> <p>1,855千円</p> <p>    ステーションプラザ西館 1,521千円</p> <p>    魚の棚商店街 229千円</p> <p>    ジェノバライン 105千円</p> <p>【平成26年度実績】</p> <p>1,581千円</p> <p>    ステーションプラザ西館 1,309千円</p> <p>    魚の棚商店街 272千円</p> <p>【平成27年度見込】</p> <p>    魚の棚商店街 300千円（予算）</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	1,855	830	2,685	0	0	0	2,685	正規	0.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	1,650	820	2,470	0	0	0	2,470	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	1,581	820	2,401	0	0	0	2,401	任期付	0.00	合計	0.10
27当初予算	300	820	1,120	0	0	0	1,120				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	観光市民トイレ開放助成		1,581		負担金補助及び交付金
	<b>合計</b>		1,581		<b>合計</b>		300

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-002	事務事業名	観光市民トイレ助成事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	観光市民トイレ水道 使用水量	使用水量	m <sup>3</sup>	8,809	7,189	1,584
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
		×				
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・うおのたな観光市民トイレは再開発ビル完成後の平成29年度以降に廃止予定</li> <li>・ステーションプラザ明石内の観光市民トイレが改装工事で閉鎖になることで、明石駅周辺の来街者に対する影響は大きいと考えられたため、対策として、駅周辺の施設所有者や店舗等に利用者以外のトイレ利用者の受け入れを依頼し、了承のあった店舗を取りまとめたトイレマップを作成し、観光案内所での配付、掲示等による案内を行っている。</li> <li>・ステーションプラザ明石内の改装工事の開始直後は、南館のトイレに殺到する等の一時的な混乱や明石駅前への簡易トイレ設置の要望等があったが、現在は、目立った混乱はない。</li> <li>・今後、ステーションプラザ明石のリニューアルオープン、明石駅前南地区再開発ビルの完成により、両施設内のトイレの利用が可能となるため、トイレ問題は緩和されることが予想される。</li> </ul>						

# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	中小企業融資対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 003	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課		
	<b>項</b>	商工費	<b>連絡先</b>	(078)918-5098		
	<b>目</b>	商工業振興費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 46 年度
	<b>事業</b>	中小企業融資対策事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市中小企業融資制度要綱		
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-1 商工業の振興	<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	○	その他
<b>個別計画</b>			委託	指定管理		○

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内中小企業者
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市内中小企業者に事業資金の貸付を行い、中小企業者の資金調達の円滑化と経営の安定を図り、もって地域産業の振興を図る。

<b>事業内容</b>	①融資の概要	取扱金融機関に融資の原資となる資金を預託し、金融機関において中小企業者に市中金利より低利で融資を実行する。中小企業者が融資を受けるにあたって、信用保証協会の保証承諾を受けることが前提であり、利用者は、信用保証協会に対して信用保証料の支払いを要する。 市は、信用保証料の一部を負担することで、利用者の負担軽減を図っている。
	②融資の種類（平成27年7月1日より融資利率をそれぞれ0.1%引き下げ。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎中小企業振興資金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>融資利率 : 1.6%/年</li> <li>資金使途 : 運転資金・設備資金</li> <li>融資限度額 : 運転資金・・・2000万円 設備資金・・・3000万円</li> <li>融資期間 : 7年以内</li> <li>信用保証料市負担割合 : 1/3</li> </ul> </li> <li>◎特別小規模企業資金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>融資利率 : 1.4%/年</li> <li>資金使途 : 運転資金・設備資金</li> <li>融資限度額 : 運転資金、設備資金とも500万円</li> <li>融資期間 : 5年以内</li> <li>信用保証料市負担割合 : 1/2</li> </ul> </li> <li>◎中小企業短期事業資金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>融資利率 : 1.4%/年</li> <li>資金使途 : 運転資金</li> <li>融資限度額 : 運転資金・・・1000万円</li> <li>融資期間 : 1年以内</li> <li>信用保証料市負担割合 : 無し</li> </ul> </li> </ul>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	436,799	4,150	440,949	0	0	433,300	7,649	正規	0.30	パート	0.00
26当初予算	552,292	8,200	560,492	0	0	546,747	13,745	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	347,998	8,200	356,198	0	0	345,000	11,198	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	463,892	3,280	467,172	0	0	459,347	7,825				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	保証協会等事務連絡	2			旅費	県金融課、保証協会等事務連絡
需用費	消耗品費等	30		需用費	消耗品費等	30	
委託料	信用保証料市負担分	2,966		委託料	信用保証料市負担分	4,500	
貸付金	融資預託金	345,000		貸付金	融資預託金	459,347	
	<b>合計</b>		347,998		<b>合計</b>		463,892

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-003	事務事業名	中小企業融資対策事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	融資実行額		振興資金＋特別小規模資金＋短期事業資金	件数	56件	53件	76件
				千円	246,950	233,590	300,000
信用保証料助成額		振興資金＋特別小規模資金＋短期事業資金	件数	56件	53件	76件	
			千円	2,859	2,966	4,500	
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業が中小企業者に対するセーフティネットの役割を果たしていると考えられる。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×		
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県でも同様の事業を行っているが、本市制度の方が、信用保証料補助がある点や利率が低い点が、県制度と比べてのインセンティブになっている。</li> <li>・信用保証料補助については、市内中小企業者にとって融資を申し込む上で重要な要素であることから、今後も継続していくべきであるが、補助率については、県内でも実施していない自治体もあり、本制度の利用状況等を精査しながら補助率の引き下げを検討していく。</li> </ul>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		南二見会館等管理運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 004																						
				分割/統合																									
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容																									
	款	商工費		事業所管課	産業振興部商工労政課																								
	項	商工費		連絡先	(078)918-5098																								
	目	商工業振興費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 62 年度																						
	事業	南二見会館等管理運営事業		根拠法令 ・要綱等	明石市南二見会館等管理運営要綱																								
施策分野		3 産業・観光分野		実施方法	直営		補助・助成		その他																				
		3-1 商工業の振興			委託	○	指定管理																						
個別計画																													
事業 の 目的	対象（誰を・何を）																												
	二見臨海工業団地企業及びその従業員等																												
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）																												
	貸館の運営及び駐車場運営により、二見臨海工業団地企業及びその従業員等の福利向上を図る。																												
事業 内 容	①二見工業団地企業及びその従業員等の福利向上を図るために、南二見会館の貸館及び駐車場運営を（一財）明石市産業振興財団への管理運営委託により行う。 ※駐車場 ・北駐車場(191区画)、南駐車場(190区画)で計381区画 ・1区画1か月5,000円で賃貸借契約を締結し貸し出し(普通財産)																												
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">※実績</td> <td style="width: 15%;">平成25年度</td> <td style="width: 15%;">平成26年度</td> <td style="width: 15%;">平成27年度</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>10,515千円</td> <td>11,913千円</td> <td>12,110千円(予算)</td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>										※実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度							委託料	10,515千円	11,913千円	12,110千円(予算)					
※実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度																										
委託料	10,515千円	11,913千円	12,110千円(予算)																										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,515	830	11,345	0	0	23,735	-12,390				
26当初予算	12,110	820	12,930	0	0	25,000	-12,070	正規	0.10	パート	0.00
26決算	11,913	820	12,733	0	0	25,612	-12,879	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	12,110	820	12,930	0	0	25,000	-12,070	任期付	0.00	合計	0.10

  

26 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
		委託料	管理運営委託料		11,913		委託料
	合計		11,913		合計		12,110

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-004	事務事業名	南二見会館等管理運営事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	会館稼働率	利用件数/利用可能回数	%	7	8	10
	駐車場稼働率	契約台数/全区画台数	%	100	100	100
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸館の運営及び駐車場賃貸により、二見臨海工業団地企業及びその従業員等の利便性向上に寄与した。</li> <li>・ 同施設は、二見臨海工業団地企業の福利厚生充実を主目的として造られた施設であり、このような経緯から会館全体の稼働率は、10%に満たず低い状態にある。そのため、2階ホールを地域住民の卓球利用の場としても貸し出し、地域の利便性向上及び施設の有効活用に努めている。</li> <li>・ 館内には「二見臨海工業団地企業連絡協議会」が事務所を構えており、二見臨海工業団地内企業の組合的機能も有している。</li> </ul>						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
事業の評価・今後の方向性	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設は老朽化が進んでおり、屋根や外壁の傷みから雨漏りが発生しているため、計画的な保全に努める必要がある。</li> <li>・ 調査・研究を行いながら、施設の利用促進を図る。</li> </ul>						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	産業交流センター管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 005		
		<b>分割/統合</b>	事業の統合				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	工業振興事業の「明石高専ものづくり連携事業 イベント業務委託」を指定管理業務に統合			
	<b>款</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課			
	<b>項</b>	商工費	<b>連絡先</b>	(078)918-5098			
	<b>目</b>	商工業振興費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 10 年度	
	<b>事業</b>	産業交流センター管理運営事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立産業交流センター条例及び施行規則 明石市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他	
	3-1 商工業の振興			委託	指定管理	○	
<b>個別計画</b>							

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	主に市内中小企業
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	異業種交流、企業情報の提供、セミナー、技術分野の相談等の事業を通して中小企業等の育成を図る。

<b>事業内容</b>	①異業種交流、企業情報の提供、セミナーの開催、技術分野の相談等の事業を通して中小企業等の育成を図るため、(一財)明石市産業振興財団を指定管理者として産業交流センターの管理運営を行う。 ※貸館実績            H25年度        H26年度 ・ 稼働率            45%            43% ・ 利用人数        189,537人      191,678人 ・ 利用件数        3,693件        3,556件 ※プレイルーム除く
	②指定管理事業として、市内産業の発展のため、産業交流促進事業等を実施する。 ・ 産学官連携事業 ・ 研修(新入社員、中堅社員、社会保険実務、税務) ・ 各種講座・講習会(技術デリバリー、シーケンス制御、機械加工、ビジネス情報収集、産業技術専門) ・ 各種セミナー(金融・経済、ライフプラン、産業財産権、起業等8種類) ・ 各種相談事業(経営、技術、産業財産権、企業訪問) ・ 最先端施設見学会(年1回) ・ 明石発！ 発明発見展、東播磨ビジネスマッチングフェア等のイベント ・ 産業振興活動団体への支援と連携 ③産業交流センターの利用環境整備を図るため、施設内の改修工事等を行う。 【平成25年度】 ・ 1階ホール丸柱タイル修繕(500千円) ・ 冷温水発生機電気部品取替(2,793千円) 【平成26年度】 ・ 非常用照明更新工事(4,255千円) 【平成27年度(予定)】 ・ 受変電設備改修工事(5,800千円) ・ 5階会議室1机撤去、可動式机購入(1,170千円) ・ 電話交換機更新(2,000千円) ・ 展示場吊物ワイヤー修繕(1,500千円)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	61,639	2,490	64,129	0	0	454	63,675	正規	0.30	アルバイト	0.00
26当初予算	66,116	1,640	67,756	0	0	454	67,302	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	65,257	1,640	66,897	0	0	462	66,435	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	71,979	2,460	74,439	0	0	462	73,977				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	指定管理料	61,002			委託料	指定管理料
工事請負費	非常用照明更新工事	4,255		報酬	委員報酬	176	
				旅費	旅費	10	
				需用費	机撤去工事 舞台吊物ワイヤー修繕	1,670	
				工事請負費	受変電設備等改修工事	5,800	
				備品購入費	電話交換機の交換 会議室稼働式机等	3,000	
	<b>合計</b>		65,257		<b>合計</b>	71,979	

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-005	事務事業名	産業交流センター管理運営事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	稼働率	利用件数/利用可能回数 (プレイルーム除く)	%	45	43	45
	企業相談件数	相談件数(訪問による相談を含む)	件	280件	337件	350件
<b>指標で表せない効果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官連携、情報提供等の事業による中小企業等の育成や創業支援を図り、市内産業の発展に寄与した。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稼働率が50%を下回っていることから、市内外の企業に対する広報の強化等により貸館業務の稼働率改善に努める必要がある。</li> <li>・ 3階情報ライブラリーをセミナールームに改修し、明石市産業振興財団の新たな自主事業による活用や極端に稼働率が低い会議室1の改修等、施設の効率的な利用を図っていく。</li> </ul>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	地域経済緊急支援事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 006	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課		
	<b>項</b>	商工費	<b>連絡先</b>	(078)918-5098		
	<b>目</b>	商工業振興費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 21 年度
	<b>事業</b>	地域経済緊急支援事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市住宅リフォーム助成事業実施要綱		
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-1 商工業の振興	<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	○	その他
<b>個別計画</b>			委託	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内リフォーム関連事業者及び市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民の住宅環境の向上を図るとともに、市内産業の活性化を図る。

<b>事業内容</b>	<p>明石市住宅リフォーム助成事業 市民が所有し居住する住宅を市内の施工業者を利用して、20万円以上の修繕、補修工事等を行う場合、経費の10%(上限10万円)を助成する。</p> <p>※実績            H25年度        H26年度        H27年度(予定)</p> <p>・助成者数        102人            86人            80人</p> <p>・助成総額        8,863千円        7,265千円        8,000千円</p> <p>平成27年度より、国の補助金である「社会資本整備総合交付金」を活用することとなり、国の補助対象となる要件を満たした助成対象者に対して市が交付した助成金額の50%が、国から市に対して交付されることとなった。</p>
-------------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	8,863	4,150	13,013	0	0	0	13,013	正規	0.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	8,000	4,920	12,920	0	0	0	12,920	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	7,265	4,920	12,185	0	0	0	12,185	任期付	0.00	合計	0.60
27当初予算	8,000	4,920	12,920	2,000	0	0	10,920				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	住宅リフォーム助成		7,265		負担金補助及び交付金
	<b>合計</b>		7,265		<b>合計</b>		8,000

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-006	事務事業名	地域経済緊急支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	市内消費喚起額	事業実施により、消費をどの程度掘り起こすことができたか。	千円	64,000	34,000	32,000
	市内経済波及効果額	事業実施により、市内の各産業(業種)にどの程度の波及効果があったか。	千円	75,000	41,000	38,000
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の募集では、毎回定数を超える応募があり、抽選によって助成候補者の選定を行っているが、数名の辞退者が必ず出るため、予算を満額執行するのは難しい状況である。</li> <li>・国の補助金を受けるには、助成候補者が行う住宅リフォーム工事が国の補助対象工事である必要があり、工事が完了するまでは国の補助金対象かどうか確定できないことから、事前に国の補助金額を見込むことが困難である。</li> <li>・今後も財政健全化の取り組みに配慮しつつ、制度の継続実施を図る。</li> </ul>						

### 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		商店街活性化支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 007		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	商工費		事業所管課	産業振興部商工労政課				
	項	商工費		連絡先	(078)918-5098				
	目	商工業振興費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度		
	事業	商店街活性化支援事業		根拠法令・要綱等	明石市商業団体地域貢献事業助成金交付要綱、明石市商業団体共同事業補助金交付要綱、明石市商業団体街路灯電気料補助金交付要綱				
施策分野		3 産業・観光分野		実施方法	直営	補助・助成	○	その他	
		3-1 商工業の振興			委託	指定管理			
個別計画		商業振興基本計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）		
	市内の商店街振興組合、事業協同組合をはじめとする商業団体等。任意団体を含む。		
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）		
	商業団体の地域貢献事業による賑わいづくりと商店街の活性化、及び商業環境の整備、地域の安全化を図る。		
<p>①商業団体地域貢献事業 商業団体が地域貢献事業を実施する際の経費について助成する。 助成額：助成対象経費の50% 実績      平成25年度      平成26年度      平成27年度（予定） 助成金額    10,233千円      9,475千円      11,783千円</p> <p>②商業団体共同事業 商業団体の共同施設（アーケード、街路灯、防犯カメラ等）の新設、改修費用の一部を補助する。 助成額：工事費の20%（1,000万円を超える部分は10%） 実績      平成25年度      平成26年度      平成27年度（予定） 助成金額    2,076千円      941千円      2,215千円</p> <p>③商業団体街路灯電気料補助事業 商業団体が維持管理する街路灯、アーケード等について、夜間も点灯していることを条件に、電気料を補助する。 助成額：1年分の電気料の20% 実績      平成25年度      平成26年度      平成27年度（予定） 助成金額    2,376千円      2,571千円      3,000千円</p> <p>④中心市街地三白館支援事業 「ほんまち三白館」のオープンに伴い、同館の集客効果を高める事業を実施することで、中心市街地の活性化に繋げる。</p>			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	17,371	5,810	23,181	0	0	0	23,181	正規	0.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	17,600	5,740	23,340	0	0	0	23,340	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	13,587	5,740	19,327	0	0	0	19,327	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	17,500	2,460	19,960	0	0	0	19,960				

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	商業団体地域貢献事業補助金ほか		13,587		負担金補助及び交付金
					委託料	中心市街地三白館支援事業	500
	合計		13,587		合計		17,500

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-007	事務事業名	商店街活性化支援事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	集客イベント等助成事業	実施事業数	件	16	15	17
	ハード整備等、及び街路灯電気料補助事業	実施事業数	件	18	19	19
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・ハード整備について、老朽化した設備の修繕や街路灯等の照明のLED化等の需要が増えており、27年度の助成希望額が予算を超過する恐れがあったため限度額の調整を行った。</p> <p>・商業団体からのニーズが高く、今後も事業を継続する必要があるが、商業団体地域貢献事業については、助成割合の引き下げを含めて事業内容の見直しを検討する。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		若年失業者・無業者試行的就労支援プログラム(緊急雇用)事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 008				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容							
	款	商工費	事業所管課	産業振興部商工労政課						
	項	商工費	連絡先	078(918)-5098						
	目	商工業振興費	自治/法定	開始年度	平成 26 年度					
	事業	若年失業者・無業者試行的就労支援プログラム(緊急雇用)事業	根拠法令・要綱等							
施策分野			実施方法		直営		補助・助成		その他	
個別計画					委託	○	指定管理			
事業の目的	対象(誰を・何を)									
	明石市内に居住している39歳までの若年失業者・無業者(約2,000人)									
	意図(どういう状態にしたいのか)									
各支援対象者に合った就労支援を実施し、企業等への就職に導く。										
事業内容	市が委託する事業者により、市内の就労を希望する若年失業者・無業者に対して、専門相談員によるキャリアカウンセリングや一般常識・接遇等のセミナー、就労体験施設での就労体験、インターンシップ等の就労支援を実施する。									
	受託者:NPO法人こうべユースネット									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.20	パート	0.00
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	5,283	1,640	6,923	5,283	0	0	1,640	任期付	0.00	合計	0.20
27当初予算	5,400	1,640	7,040	5,400	0	0	1,640				

  

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	若年失業者(無業者)試行的就労支援プログラム業務委託料	5,283			委託料	若年失業者(無業者)試行的就労支援プログラム業務委託料
	合計		5,283		合計		5,400

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-008	事務事業名	若年失業者・無業者試行的就労支援プログラム(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	-------------------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	就職者数	本事業の支援プログラムに入り、最終的に就職を実現した人数	人		9	16
	セミナー受講者数	本事業の支援プログラムに入り、セミナーを受講した人数(延べ人数)	人		77	90
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・本事業は、平成26～27年度での実施を予定しており、現在のところ一定の効果を挙げている。しかし、本事業は、他の就労支援団体や明石市の各部と連携し、事業自体をある程度長期間定着させることで、より大きな効果を生むことができるものと考えている。現在、あかし若者サポートステーションを中心としたネットワーク体制を構築しており、同ネットワークと連携した形で同事業の存続を模索したい。</p>						



## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		地元中小企業経営者支援プログラム(緊急雇用)事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 009				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容							
	款	商工費	事業所管課	産業振興部商工労政課						
	項	商工費	連絡先	078(918)-5098						
	目	商工業振興費	自治/法定	開始年度	平成 26 年度					
	事業	地元中小企業経営者支援プログラム(緊急雇用)事業	根拠法令・要綱等							
施策分野			実施方法		直営		補助・助成		その他	
個別計画					委託	○	指定管理			
事業の目的	対象(誰を・何を)									
	明石市内の中小企業者									
	意図(どういう状態にしたいのか)									
明石市内の経営改善を目指す中小企業者に対して、専門的知見を有するコンサル業者が経営に関する継続的な助言を行うことにより、中小企業者の経営の安定化を図り、それにより生じた利益の一部を従業員に還元することで、賃金上昇・福利厚生向上等従業員の処遇改善を図る。 目標:7社以上の経営改善に着手し、5社以上の経営改善を図る。										
事業内容										
応募があった市内中小企業を支援対象事業者として、市が委託するコンサル業者を派遣し、支援計画を策定した上で、1週間もしくは2週間に1回程度のディスカッションや進捗管理、アドバイス等のコンサルティング指導を行う。 受託者:株式会社シザコンサルティング 支援対象事業者:7社										

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.20	パート	0.00
26当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	4,829	1,640	6,469	4,829	0	0	1,640	任期付	0.00	合計	0.20
27当初予算	3,500	1,640	5,140	3,500	0	0	1,640				

  

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	地元中小企業者経営支援プログラム業務委託料		4,829		委託料
	合計		4,829		合計		3,500

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-009	事務事業名	地元中小企業経営者支援プログラム(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	--------------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	経営改善事業者数	同事業により経営改善がなされた事業者数	社		3	5
	処遇改善者数	経営改善の結果、処遇が改善された雇用者数	人		49	100
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・本事業は、国の交付金を受けて実施している兵庫県の補助事業であり、平成26～27年度での実施である。</p> <p>・一つの事業者に対して集中的に専門家による経営支援を行う事業であり、試験的に実施したところ、一定程度の効果を挙げているだけでなく、支援対象事業者に対するアンケートでも好評価を得ており、今後の事業継続を検討していく。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	TMO支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 010		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容 事業所管課 産業振興部商工労政課 連絡先 (078)918-5098 自治/法定 自治事務   開始年度 平成 13 年度 根拠法令・要綱等 明石市補助金等交付規則 実施方法 直営 補助・助成 ○ その他 委託 指定管理				
	款	商工費					
	項	商工費					
	目	商工業振興費					
	事業	TMO支援事業					
<b>施策分野</b>		3 産業・観光分野		<b>実施方法</b>			
		3-1 商工業の振興					
<b>個別計画</b>							

<b>事業の目的</b>	<p><b>対象（誰を・何を）</b> 明石地域振興開発株が所有し、管理・運営する駐車場事業について</p> <p><b>意図（どういう状態にしたいのか）</b> 同駐車場は、広く中心市街地全体の公共駐車場としての役割を担っており、公共性と不採算性を有することから、同社の駐車場事業へ支援することにより、健全な経営を図り、もって中心市街地の活性化に寄与することを目的とする。</p>
<b>事業内容</b>	<p>明石地域振興開発株に対し、駐車場運営にかかる次の経費を予算の範囲内で補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場部分にかかる固定資産税、都市計画税相当額</li> <li>・駐車場部分にかかる共用部分ビル管理費</li> <li>・駐車場本体及び設備の減価償却費の1/3</li> </ul> <p>TMO支援事業補助実績額 平成25年度 69,274千円 平成26年度 59,857千円 平成27年度（見込） 51,757千円</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	69,274	1,660	70,934	0	0	0	70,934	正規	0.10	アハ'仆	0.00
26当初予算	59,857	820	60,677	0	0	0	60,677	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	59,857	820	60,677	0	0	0	60,677	任期付	0.00	合計	0.10
27当初予算	51,757	820	52,577	0	0	0	52,577				
<b>26年度決算事業費明細</b>	区分（節）	内容	金額	<b>27年度当初予算事業費明細</b>	区分（節）	内容	金額				
	負担金補助及び交付金	TMO補助事業費補助金	59,857		負担金補助及び交付金	TMO支援事業費補助金	51,757				
<b>合計</b>			<b>59,857</b>	<b>合計</b>			<b>51,757</b>				

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-010	事務事業名	TMO支援事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
		年間駐車台数	利用台数の増により公共駐車場としての役割を担うとともに、同社の収益を増加させ、経営の安定化を図る。	万台	56.7	60.8
<b>指標で表せない成果</b>						
中心市街地の駐車場不足の解消						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>・明石地域振興開発㈱では、H24年7月に「明石地域振興開発株式会社の経営健全化に向けた取組方針」を市に提出しており、その中で、「明石市からの補助金に依拠しない自立経営の早期達成を図る」としており、実現に向けて経営改善に努めている。</p> <p>・現在、同社では同取組方針に則り、平成25年度から5年契約で、アスピア明石のショッピングセンター及び駐車場を、実績のあるプロパティマネジメントの専門企業に管理運営委託を行っており、経費の削減及び収益の増加を図っており、現時点では経営状況の改善が見られている。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	労働者福祉事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 011				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	商工費							
	<b>項</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課					
	<b>目</b>	商工業振興費	<b>連絡先</b>	(078)918-5098					
	<b>事業</b>	労働者福祉事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市補助金等交付規則					
	3-5 就労・勤労者の支援								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営		補助・助成	○	その他	
				委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>
	①勤労者等 ②市内事業所、求職者、一般（事業所・市民）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>
<b>事業内容</b>	①勤労者の福祉向上に寄与するとともに雇用の安定、若年労働力の確保等雇用に係る諸問題解決を図る。
	①明石労働者福祉協議会に委託し、マイライフプラン講演会、各種セミナー等勤労者福祉事業を実施している。また、同協議会の事業活動に対して補助する。 ②高齢者の雇用の安定、若年労働力の確保・定着、中小企業の福祉、労務改善等にかかる諸事業を実施する兵庫県雇用開発協会に対して負担金を支払う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	2,651	3,320	5,971	0	0	0	5,971	正規	0.10	パート	0.00
26当初予算	1,898	820	2,718	0	0	0	2,718	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	1,892	820	2,712	0	0	0	2,712	任期付	0.00	合計	0.10
27当初予算	1,893	820	2,713	0	0	0	2,713				

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	会議、関係機関等への出張ほか	2		2	旅費	会議、関係機関等への出張ほか
需用費	消耗品費等	50	50	需用費	明石地域雇用開発協会事業費用ほか	48	
委託料	労働者福祉業務委託料	880	880	委託料	労働者福祉業務委託料	880	
負担金補助及び交付金	労働団体への補助、負担金	960	960	負担金補助及び交付金	労働団体への補助、負担金	960	
<b>合計</b>			1,892	<b>合計</b>			1,893

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-011	事務事業名	労働者福祉事業
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	マイライフプラン講演会	参加人数	人	150	150	150
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・明石労働者福祉協議会への委託事業については、労働者の福祉向上に資するよう事業内容のさらなる充実を図りながら委託金額の削減を検討していく。</p>						

# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	勤労福祉会館管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 012	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計				
	<b>款</b>	商工費				
	<b>項</b>	商工費				
	<b>目</b>	勤労福祉会館費				
	<b>事業</b>	勤労福祉会館管理運営事業				
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課		
	3-5 就労・勤労者の支援		<b>連絡先</b>	(078)918-5098		
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 56 年度
			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立勤労福祉会館条例及び施行規則 明石市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例		
			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他
				委託	指定管理	○

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	勤労者をはじめとする市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	福利厚生の上昇（文化・教養・スポーツ等の活動の場の提供）

<b>事業内容</b>	①勤労者をはじめとする市民の福利厚生の上昇のため、（一財）明石市産業振興財団を指定管理者として勤労福祉会館の管理運営を行う。	
	貸館実績      H25年度      H26年度 ・ 稼働率          62%          61% ・ 利用人数      131,181人    125,230人 ・ 利用件数      4,579件      5,492件(※)	※利用件数の集計方法の変更 トレーニング室：（平成25年度まで）1日1回 → （平成26年度～）1日3回 の利用区分で集計 ギャラリー：（平成25年度まで）1日1回 → （平成26年度～）1日2回 の利用区分で集計
	②指定管理事業として、勤労市民の福利厚生のため卓球教室等の事業を実施する。	
	・ ステップアップ卓球教室（1回実施） ・ スポーツ教室すこやか体操（30回開催） ・ 囲碁将棋大会（1回開催） ・ 神戸学院大学健康セミナー（2回開催）	
	③利用環境整備を図るため、施設内の改修工事等を行う。	
	【平成25年度】 ・ 雨漏り、空調等修繕（1,214千円） 【平成26年度】 ・ 冷温水発生機及び空調機更新（32,184千円） ・ 音響設備更新工事（4,153千円） ・ 受変電設備改修工事（24,300千円） ・ 非常灯取替修繕（177千円） 【平成27年度（予定）】 ・ 屋根改修工事（21,400千円） ・ 地下駐車場フェンス設置、南玄関階段、排水管修繕（800千円）	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	47,358	2,490	49,848	0	0	1,728	48,120	正規	0.30	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	107,828	1,640	109,468	0	60,000	1,735	47,733	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	108,612	1,640	110,252	0	60,637	1,746	47,869	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	70,032	2,460	72,492	0	21,400	1,757	49,335				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	非常灯取替修繕	177			工事請負費	屋根改修工事
委託料	指定管理料	47,798		需用費	南玄関階段、排水管等修繕料	800	
工事請負費	冷温水機及び空調機改修工事 受変電設備等更新工事	60,637		委託料	指定管理料	47,832	
	<b>合計</b>		108,612		<b>合計</b>		70,032

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-012	事務事業名	勤労福祉会館管理運営事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	稼働率	利用件数/利用可能回数	%	62	61	65
	自主事業参加者数	自主事業の事業数 自主事業の参加者数	事業人	7事業 447人	7事業 665人	7事業 700人
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労市民の福利厚生の上(文化・教養・スポーツ等の活動の場の提供)に寄与した。</li> <li>・明石労働者福祉協議会等の団体(7団体)が入居するなど、明石市の勤労者福祉の拠点施設としての機能も有している。</li> </ul>						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設は老朽化が進んでおり、自家発動機等の設備改修を行うこと等、計画的な保全に努める必要がある。</li> <li>・平成28年度からのあかねが丘学園の課外活動による利用に向けた準備を行う。</li> <li>・周辺施設との機能の複合化や多機能化等、施設の今後の活用方法についての検討を行う。</li> </ul>						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	技能職者表彰事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 013		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	商工費					
	<b>項</b>	商工費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課			
	<b>目</b>	勤労福祉会館費	<b>連絡先</b>	(078)918-5098			
	<b>事業</b>	技能職者表彰事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 49 年度	
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-1 商工業の振興		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市技能職者表彰規程			
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内の技能者
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	優秀な技能を有し、かつ、永年にわたりその技能を必要とする職業に従事して地域社会に貢献した功績を称える。

<b>事業内容</b>	各種産業団体から推薦のあった表彰対象者について、市長から諮問を受けた明石市技能職者表彰審査委員会が表彰の適否を審査し、その結果を踏まえて市長が受賞者を選定、表彰するもの。	
	平成25年度 11月21日実施 (15職種22名 男性20名・女性2名を表彰) 推薦依頼団体数 48団体 推薦のあった団体 19団体	平成26年度 11月19日実施 (15職種22名 男性21名、女性1名を表彰)  推薦依頼団体数 49団体 推薦のあった団体 15団体
	※推薦依頼団体の追加(実績) 平成18年度: 商工会議所、商店街連合会、あかし農協、兵庫南農協、漁業組合連合会 平成19年度: 明石卸売市場運営協議会 平成20年度: 兵庫県板硝子商工業協同組合、兵庫県フラワー装飾技能士会、兵庫県タイル衛生陶器商組合、兵庫県室内装飾事業協同組合 平成21年度: 兵庫県洋装技能士会、兵庫県消防設備保守協会 平成26年度: 兵庫県西洋調理師技能士会	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	377	3,320	3,697	0	0	0	3,697	正規	0.30	パート	0.00
26当初予算	569	2,460	3,029	0	0	0	3,029	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	381	2,460	2,841	0	0	0	2,841	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	548	2,460	3,008	0	0	0	3,008				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	表彰式演奏者謝礼		50		報償費
	需用費	受賞者記念品ほか	331		需用費	受賞者記念品ほか	488
	役務費	賞状筆耕料	0		役務費	賞状筆耕料	10
	<b>合計</b>		381		<b>合計</b>		548

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-013	事務事業名	技能職者表彰事業
------	----------------	-------	----------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	受賞者数	毎年の受賞者数	人	22	22	
	<b>指標で表せない成果</b>					
毎年広報紙、日刊紙等で取り上げられることもあり、受賞者の事業活動にも少なからず良い影響を与えている。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
優秀な技能を有しかつ永年にわたりその技能を必要とする職業に従事して地域社会に貢献した功績を称えるため表彰式を実施しており、今後とも引き続き実施していく。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	中高年齢労働者福祉センター管理運営事業			<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 014			
				<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計			<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費			<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課				
	<b>項</b>	商工費			<b>連絡先</b>	(078)918-5098				
	<b>目</b>	中高年齢労働者福祉センター費			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 61 年度		
	<b>事業</b>	中高年齢労働者福祉センター管理運営事業			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立中高年齢労働者福祉センター条例及び施行規則 明石市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例				
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成		その他		
	3-5 就労・勤労者の支援				委託	指定管理	○			
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b> 中高年齢労働者をはじめとする市民									
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b> 健康と福祉の向上（文化・教養・スポーツ等の活動の場の提供）									
<b>事業内容</b>	①中高年齢労働者をはじめとする市民の健康と福祉の向上を図るため、（一財）明石市産業振興財団を指定管理者として中高年齢労働者福祉センター（サンライフ明石）の管理運営を行う。  貸館実績    H25年度    H26年度 ・稼働率     75%         78% ・利用人数   64,137人    67,085人 ・利用件数   3,491件       4,025件（※）  ※利用件数の集計方法の変更 トレーニング室：平成25年度までは1日1回 → 平成26年度～1日3回 の利用区分で集計									
	②指定管理事業として、中高年齢労働者をはじめとする勤労市民の福利厚生のため体操教室等の事業を実施する。 ・若さを維持するパワフル体操教室（年48回実施） ・老化を防ぐいきいき体操講座（年48回実施） ・しっかりサポート 楽しむ体操教室（年36回実施）									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	28,510	2,490	31,000	0	0	526	30,474	正規	0.30	パート	0.00
26当初予算	29,550	1,640	31,190	0	0	526	30,664	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	29,456	1,640	31,096	0	0	499	30,597	任期付	0.00	合計	0.30
27当初予算	29,550	2,460	32,010	0	0	499	31,511				

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	指定管理料		29,456		委託料
	<b>合計</b>		29,456		<b>合計</b>		29,550

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-014	事務事業名	中高年齢労働者福祉センター管理運営事業
------	----------------	-------	---------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	稼働率	利用件数/利用可能回数	%	75	78	80
	自主事業参加者数	自主事業の事業数 自主事業の参加者数	事業人	8事業 5,248人	9事業 6,096人	9事業 6,000人
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中高年齢労働者をはじめとする勤労市民の福祉の向上(文化・教養・スポーツ等の活動の場の提供)に寄与した。</li> <li>・ ふれあいサロンを開設するなど、市民に憩いの場を提供した。</li> </ul>						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設は老朽化が進んでおり、屋根や外壁の傷みから雨漏りが発生しているため、計画的な保全に努める必要がある。</li> <li>・ 館の稼働率が高いことから、今後も利用者の利便性を考慮し、引続き館の管理運営に努めて行く。</li> </ul>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	都市開発資金貸付金償還金	新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 015		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	公債費	事業所管課	産業振興部商工労政課			
	項	公債費	連絡先	(078)918-5098			
	目	元金	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	事業	都市開発資金貸付金償還金	根拠法令・要綱等	都市開発資金の貸付けに関する法律			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他	○
	3-1 商工業の振興			委託	指定管理		
<b>個別計画</b>							

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	国及び明石市が保留床取得資金として明石地域振興開発株に対して貸付した無利子貸付金
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市が同社から償還を受け、その半額を国に償還する。

<b>事業内容</b>	再開発ビル(アスピア明石)の保留床を取得する資金として、明石地域振興開発株に対し、市から無利子で貸し付けた貸付金について、同社より市へ償還を受けた金額の半額を、国に返済する。
	<p>●同社から市への償還金額</p> <p>平成22年度 33,430千円(うち、市から国への償還16,715千円)</p> <p>平成23年度 95,146千円(うち、市から国への償還47,573千円)</p> <p>平成24年度～平成36年度 123,592千円(うち、市から国への償還61,796千円)</p> <p>平成37年度 90,262千円(うち、市から国への償還45,131千円)</p> <p>平成38年度 28,466千円(うち、市から国への償還14,233千円)</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	61,796	830	62,626	0	0	61,796	830	正規	0.10	パート	0.00
26当初予算	61,796	820	62,616	0	0	61,796	820	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	61,796	820	62,616	0	0	61,796	820	任期付	0.00	合計	0.10
27当初予算	61,796	820	62,616	0	0	61,796	820				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	都市開発資金貸付金の償還		61,796		償還金利子及び割引料
	<b>合計</b>		61,796		<b>合計</b>		61,796

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-015	事務事業名	都市開発資金貸付金償還金
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	償還金の受入	同社から市への償還金が契約どおり返還されること	千円	123,592	123,592	123,592
	償還金の返済	市が国への償還金を契約どおり返還すること	千円	61,796	61,796	61,796
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明石地域振興開発㈱においては、今年度に至るまで予定どおりに返済を続けており、今後も同様に続けていく。</li> </ul>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 016			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	地方卸売市場事業	事業の分割/統合の内容						
	款	市場事業費	事業所管課	産業振興部商工労政課					
	項	市場事業費	連絡先	(078)918-5591					
	目	市場管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度			
	事業	一般管理事務事業	根拠法令・要綱等	明石市地方卸売市場業務条例					
施策分野		3 産業・観光分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
		3-1 商工業の振興		委託		指定管理			
個別計画									
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	市民								
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	食生活の向上と生鮮食料品の供給安定に寄与する。								
①予算・決算・会計等の庶務に関する業務 ②卸売業者の指導、監督、検査に関する業務 ③市場施設の使用許可等に関する業務 ④仲卸業者、売買参加者、関連事業者の業務の許可、承認、指導、監督等に関する業務									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	16,533	34,330	50,863	0	0	45,025	5,838	正規	1.20	パート	0.00
26当初予算	15,263	34,040	49,303	0	0	15,263	34,040	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	14,167	34,040	48,207	0	0	38,748	9,459	任期付	0.00	合計	1.20
27当初予算	1,374	9,840	11,214	0	0	1,374	9,840				

  

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		場内用トイレトペーパー・石鹼液、光熱水費、コピー用紙等		3,889	役員費	
役員費		電話料金、建物総合・自動車損害共済分担金等	739	使用料及び賃借料		水産分場用地使用料、コピー使用料	576
委託料		食料品衛生検査委託、おさかな普及委託等	3,935	その他		事務用品、作業服等、せり人講習会謝礼等	440
使用料及び賃借料		新幹線高架下施設利用料、水産分場用地使用料、コピー使用料	1,935				
公課費		消費税及び地方消費税納付額、自動車重量税	3,065				
その他		指定管理者選定委員報酬、電話料金負担金、他市場視察旅費等	604				
合計			14,167	合計			1,374

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-016	事務事業名	一般管理事務事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	市場の取扱高	市場の活性化をめざす上で市場における取扱高の増減が指標となる。	億円	132.5	133	133
	<b>指標で表せない成果</b>					
市民の台所である卸売市場で取り扱う生鮮食品の衛生検査を定期的実施することで、出荷者により一層食の安全安心についての意識を持ってもらい、供給する食品の品質向上に寄与している。 特に食品の安全安心が注目されている状況なので重要性が増している。						

	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
市民にとって大きな関心の的である食生活の向上と、生鮮食品の安全供給のため衛生検査を行い、市場の施設見学を通して市場流通のPRに努める。 予算については、必要性を充分勘案し、かつ合理的で効率のよい執行に努める。 あり方検討委員会の報告を受け、27年度から指定管理者制度を導入し、施設の効果的な運営及び市場の活性化を図る。 27年度は、海外販路の新規開拓事業、買い物弱者に対する移動販売実験、市場まつりの開催など、新規事業の展開に力を注ぐ。						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	市場施設維持管理事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 017					
				分割/統合								
<b>関連予算科目</b>	会計	地方卸売市場事業			事業の分割/統合の内容							
	款	市場事業費			事業所管課							
	項	市場事業費			連絡先							
	目	市場管理費			自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 52 年度			
	事業	市場施設維持管理事業			根拠法令・要綱等							
<b>施策分野</b>		3 産業・観光分野			明石市地方卸売市場業務条例							
		3-1 商工業の振興										
<b>個別計画</b>					<b>実施方法</b>		直営	○	補助・助成		その他	
							委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>											
	市場施設											
<b>事業内容</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>											
	卸売市場が適正かつ安全に機能するため、市場施設の維持管理を実施する。											

<b>事業内容</b>	①株明石卸売市場管理センターを指定管理者として卸売市場の管理運営を行う。 ②新池水路・古墳維持に関する業務 ③防火扉・防火シャッター改修工事											
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	155,031	39,320	194,351	0	0	194,351	0	正規	0.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	180,480	38,860	219,340	0	11,100	169,380	38,860	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	170,506	38,860	209,366	0	0	209,366	0	任期付	0.00	合計	0.80
27当初予算	32,740	6,560	39,300	0	10,000	14,948	14,352				

区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
役務費	投棄家電処分料、放置車両処分料	101	委託料	指定管理料、新池・古墳他除草、新池水質調査	22,540	
委託料	屋外清掃業務委託料等11件	67,580	工事請負費	防火扉・防火シャッター改修工事	10,000	
工事請負費	関連店舗棟屋外消火栓設置ほか工事	10,908				
負担金補助及び交付金	発泡スチロール処理負担金、不燃物処理負担金	630				
<b>合計</b>		170,506		<b>合計</b>		32,740

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-017	事務事業名	市場施設維持管理事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	修繕	水銀灯、グレーチング、樋等の比較的軽易なものの修繕	件 千円	60 6,675	60 7,600	60 6,000
	工事	道路舗装補修、電気設備、消防設備の改修、更新等修繕の範囲を超えるもの	件 千円	0 0	1 11,100	1 10,000

### 指標で表せない成果

開設後35年以上経過し施設の老朽化が激しく修繕・改修・更新が必要な設備が多くなり対処に苦慮している状況である。卸売市場の機能不全を起こさずかつ迅速に対応するため、施工の必要性・優先順位を精査し場内業者と工事日程等の調整を行い可能な限り事業に支障のないよう調整し施工することにより、市場機能の保全と施設の安全確保に努めている。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>老朽化した施設の安全確保のため、応急的な修繕を実施していく。                      予算については、必要性を充分勘案し、かつ合理的で効率のよい執行に努める。                      今後の課題として、消防本部より指摘を受けている防火シャッター、防火扉等の修繕を計画的に進める。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	長期債元金償還金	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150001000 - 018		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	地方卸売市場事業	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	公債費					
	<b>項</b>	公債費	<b>事業所管課</b>	産業振興部商工労政課			
	<b>目</b>	元金	<b>連絡先</b>	(078)918-5591			
	<b>事業</b>	長期債元金償還金	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 50 年度	
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法第230条			
	3-1 商工業の振興						
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	長期債
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	元金を返済し、債務を解消する。
<b>事業内容</b>	災害復旧及び市場設備整備に係る長期債の元金を返済する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	54,225	0	54,225	0	0	27,203	27,022	正規	0.00	アハハ	0.00
26当初予算	55,343	0	55,343	0	0	27,766	27,577				
26決算	55,342	0	55,342	0	0	27,765	27,577	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	39,505	0	39,505	0	0	19,752	19,753	任期付	0.00	合計	0.00

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		償還金利息及び割引料	長期債元金償還金		55,342		償還金利息及び割引料
	合計		55,342		合計		39,505

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-018	事務事業名	長期債元金償還金
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
災害復旧及び市場設備整備に係る長期債の元金を返済するため、必要不可欠なものである。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	長期債利子		新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 019			
			分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	地方卸売市場事業	事業の分割/統合の内容						
	款	公債費	事業所管課	産業振興部商工労政課					
	項	公債費	連絡先	(078)918-5591					
	目	利子	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 48 年度			
	事業	長期債利子	根拠法令・要綱等	地方自治法第230条					
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成			
	3-1 商工業の振興			委託		指定管理			
<b>個別計画</b>									

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	長期債
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	利子を返済し、債務を解消する。
<b>事業内容</b>	災害復旧及び市場設備整備に係る長期債の利子を返済する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,781	0	10,781	0	0	5,397	5,384	正規	0.00	パート	0.00
26当初予算	12,373	0	12,373	0	0	6,190	6,183	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	10,000	0	10,000	0	0	5,167	4,833	任期付	0.00	合計	0.00
27当初予算	12,837	0	12,837	0	0	6,620	6,217				

  

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	長期債利子		10,000		償還金利子及び割引料
	<b>合計</b>		10,000		<b>合計</b>		12,837

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-019	事務事業名	長期債利子
------	----------------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
災害復旧及び市場設備整備に係る長期債の利子を返済するため、必要不可欠なものである。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	予備費	新規/継続	継続事業	整理番号	0150001000 - 020		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	地方卸売市場事業	事業の分割/ 統合の内容				
	款	予備費	事業所管課	産業振興部商工労政課			
	項	予備費	連絡先	(078)918-5591			
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度	
	事業	予備費	根拠法令 ・要綱等	地方自治法第217条			
施策分野	3 産業・観光分野 3-1 商工業の振興		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画				委託		指定管理	

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	地方卸売市場事業(特別会計)
	意図（どういう状態にしたいのか）	円滑で機動的な予算執行を可能にする。

事業 内容	年度途中における災害等不足の事態により、予算の不足が生じ、補正予算の計上や流用ができない場合、予備費の充当を行い、事業の執行を行う。	
	【予算計上と執行の状況(千円)】	
	予算計上	決算
	平成24年度 500	0
	平成25年度 500	0(一般管理事務事業に予備費充当155)
	平成26年度(見込) 500	0

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	パート	0.00
26当初予算	500	0	500	0	0	500	0	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
27当初予算	500	0	500	0	0	500	0				

26 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
							予備費
	合計		0		合計		500

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-020	事務事業名	予備費
------	----------------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	執行率	事業の計画的な運営を推進すべく予備費の執行率を低くすることを成果指標とする。	%	31	0	9
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

現状の課題・今後の事業展開方針等  
予備費の執行は不測の事態にのみ執行するものとし、必要最小限に留める。



## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	市場施設整備事業		新規/継続	H26休廃止	整理番号	0150001000 - 021			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	地方卸売市場事業	事業の分割/統合の内容						
	款	市場事業費	事業所管課	産業振興部商工労政課					
	項	市場事業費	連絡先	(078)918-5591					
	目	市場管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	市場施設整備事業	根拠法令・要綱等	明石市地方卸売市場業務条例					
施策分野	3 産業・観光分野 3-1 商工業の振興		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
個別計画				委託	<input type="radio"/>	指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市場施設及び機能
	意図（どういう状態にしたいのか）	卸売市場の機能改善のため、老朽化した電気設備の改修工事を行う。
	事業内容	H25年度着工の卸売市場全体の受変電設備及び市場棟の配電設備の改修工事をH26年度に完了する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
25決算	115,679	4,150	119,829	0	57,600	4,540	57,689	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	ｱｲﾄ
26当初予算	223,772	4,100	227,872	0	223,700	72	4,100	再任用	その他	ｱｲﾄ
26決算	223,771	4,100	227,871	0	223,700	0	4,171	任期付	合計	合計
27当初予算										

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		工事請負費	電気設備改修工事		223,771		
	合計		223,771		合計		

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150001000-021	事務事業名	市場施設整備事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						\
						\

### 指標で表せない成果

あり方検討委員会 卸売市場本来の流通業務や、観光スポット化など多角的に活性化をめざす提言があったほか、指定管理者制度を含む運営体制の変更を検討することなどの報告を受けている。  
 電気設備改修工事 平成24年度の調査及び実施設計に基づき、市場内業者の事業活動を継続しながら、平成25年度から2カ年で工事を実施している。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成26年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	平成26年度限りで休廃止					

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	観光施設管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150002000 - 001		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	商工費					
	<b>項</b>	商工費					
	<b>目</b>	観光費					
	<b>事業</b>	観光施設管理運営事業					
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野	<b>事業所管課</b>	産業振興部観光振興課				
	3-4 観光の振興		<b>連絡先</b>	(078)918-5018			
<b>個別計画</b>	観光振興基本構想	<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
		<b>根拠法令・要綱等</b>	観光立国推進基本法				
		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
			委託	○	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民及び市外からの観光客
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	観光案内看板・観光案内所・明石公園内「とき打ち太鼓櫓」等の観光関連施設の維持管理及び有効利用することにより観光環境を整備し、観光客の誘致を進めるとともに、訪れた観光客の利便性向上を図り、にぎわいを創出する。
<b>事業内容</b>	<p>①明石公園外堀の白鳥の維持管理【明石市シルバー人材センターに委託】 白鳥3羽、毎日2回、給餌</p> <p>②市内各所に設置されている観光案内看板等の維持管理 観光案内看板等、市内に70箇所設置 その他管理施設・・・中部幾次郎銅像、観光案内所、とき打ち太鼓櫓（ロボット含む）</p> <p>〈修繕等箇所〉 平成25年度＝11箇所（とき打ち太鼓ロボット＝3箇所、ふるさとの道案内看板＝3箇所、浜の散歩道＝2箇所、観光案内看板等＝3箇所） 平成26年度＝4箇所（とき打ち太鼓ロボット＝1箇所、船上城跡＝1箇所、浜の散歩道＝1箇所、観光案内看板＝1箇所） 平成27年度＝11箇所（とき打ち太鼓ロボット＝1箇所、観光案内看板等＝10箇所）《※見込み》</p> <p>③観光案内所の運営、維持管理 〈利用者数〉 平成25年度＝32,022人、平成26年度＝59,214人、平成27年度＝60,000人《※見込み》</p> <p>④明石公園内「とき打ち太鼓」の維持管理【川崎重工業㈱ロボットビジネスセンターに委託】 定期点検9月・3月、故障時の対応など。</p>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	14,821	18,480	33,301	0	0	0	33,301	正規	2.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	22,031	19,448	41,479	0	0	0	41,479	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	21,435	19,448	40,883	0	0	0	40,883	任期付	0.10	合計	2.30
27当初予算	16,317	18,300	34,617	0	0	0	34,617				

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費		消耗品費等(施設維持管理)、光熱水費(看板電気代、とき打ち太鼓櫓電気代)		854	需用費	
委託料		観光案内所運営管理、とき打ち太鼓櫓の維持管理等	13,238	委託料		観光案内所運営管理、とき打ち太鼓櫓の維持管理等	13,612
使用料及び賃借料		観光案内所賃借料・リース料	7,240	使用料及び賃借料		観光案内所賃借料	202
負担金補助及び交付金		観光案内所電気代	84	負担金補助及び交付金		観光案内所電気代、とき打ち太鼓櫓電気代	168
その他		観光案内看板の撤去代(役務費)	19				
	<b>合計</b>		21,435		<b>合計</b>		16,317

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150002000-001	事務事業名	観光施設管理運営事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	観光案内所の利用者数	観光案内所における観光案内などの利用者数を指標とする。	人	32,022	59,214	60,000
	<b>指標で表せない成果</b>					
明石駅に設置している観光案内所は、観光客等に対してパンフレット配布や各種観光に関する問い合わせに対応しているなど、明石への観光の拠点になっている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>【現状の課題及び今後の事業展開方針等】</p> <p>①明石公園の白鳥の維持管理に関して、(公財)兵庫県園芸・公園協会への移管を検討している。</p> <p>②観光案内看板等に関して、設置から20年以上経過しているものが多いため、緊急に修繕を行うことが増加している。維持管理の徹底や板面のリニューアルを行うとともに、新たな観光案内看板の設置についても検討している。また、外国人対応の表記についても、見直しの際に合わせて検討、実施する。</p> <p>③観光案内所については、さらなる案内スタッフの充実とともに、ぶらり子午線ガイドとの一層の連携によりおもてなし度を高め、情報発信機能の強化を図ることで、来所者にとって利便性の高い施設にする。また、リニューアル後のステーションプラザ明石西館に「総合インフォメーション」として設置できるように、関係者と引き続き協議を行う。</p> <p>④とき打ち太鼓ロボットについては、現在、法定耐用年数11年を経過し、頻繁に故障しているため、維持管理を徹底するとともに、市制100周年や明石城築城400年の平成31年(2019年)に向けてそのあり方を検討する。</p>						

# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	観光振興対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150002000 - 002			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	産業振興部観光振興課			
	<b>項</b>	商工費		<b>連絡先</b>	(078)918-5018			
	<b>目</b>	観光費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
	<b>事業</b>	観光振興対策事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	観光立国推進基本法			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	3-4 観光の振興		委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	観光振興基本構想							

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民及び市外からの観光客
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	(一社)明石観光協会など各種観光関連団体との連携を図りながら、明石の観光情報を発信するとともに、(一社)明石観光協会への運営補助金の交付などを通じて観光客の誘致を推進する。

<b>事業内容</b>	<p>①※観光パンフレットリニューアルについて 複数の観光パンフレットを「観光客向け」「旅行会社向け」の2種類に集約し、紙質変更などによる印刷部数の増加を行うことで、より分かりやすい情報提供及び中長期的な印刷費用軽減を図る。(作成パンフレット)観光客向けパンフレット 20,000部、旅行会社向け総合パンフレット 10,000部《※見込み》</p> <p>②明石の観光地を紹介するパンフレットの増刷及び配布 (作成パンフレット) 平成25年度＝広域連携(神戸・明石・姫路)観光PRパンフレット作成 4,000部、「明石散歩」改訂増刷 5,000部 平成26年度＝広域連携(明石・姫路・たつの・赤穂)観光PRパンフレット作成 10,000部、広域連携(神戸・明石・姫路)観光PRパンフレット作成 4,000部 「明石観光ガイドマップ」、「明石巡り～ふ」改訂増刷 各10,000部、「明石市市街地マップ」作成 10,000部 平成27年度＝広域連携(明石・姫路・たつの・赤穂)観光PRパンフレット作成 4,000部、広域連携(神戸・明石・姫路)観光PRパンフレット作成 4,000部 「明石巡り～ふ」改定増刷15,000部 《※見込み》 (パンフレット等配布数) 平成25年度＝約143,000部、平成26年度＝約182,700部、平成27年度＝約130,000部 《※見込み》</p> <p>③(一社)明石観光協会運営補助金交付 (一社)明石観光協会に対する支援(協会人件費、協会事務所室料、自主事業費等)</p> <p>④各地物産展等への出展 他自治体や民間団体との連携により、市外・県外における明石の観光PRの実施</p> <p>⑤旅行会社を対象とした明石観光招聘事業の実施 旅行会社のツアー造成担当者を明石に招聘し、実際に明石の観光素材を体験してもらため、招待者の選定及びツアー内容の企画立案、観光事業者との調整等を行う。</p> <p>⑥キャラクターを活用した市外・県外における明石の観光PRの実施 (平成26年4月～平成27年3月末までの出務状況) イベント31回、テレビ出演6回、誌面掲載2回、インターネットサイト・書籍掲載等4回</p> <p>⑦広域連携の取り組み 神戸・姫路などをはじめとする近隣自治体と連携し、広域で旅行商品の造成の促進及び誘客を図る旅行会社を対象とした観光セミナーや旅行会社に対する営業訪問等を実施。</p> <p>⑧※B-1グランプリを利用した観光PR 平成27年度B-1グランプリ全国大会が開催される青森県十和田市の周辺都市において、全国大会に先立ち、地元テレビ局、新聞社などのマスメディアを対象にプロモーション活動を実施。</p> <p>⑨※明石焼店舗出店状況全国調査の実施 国内の明石焼店舗の出店状況を調査し、店舗リストを作成するとともに、観光協会会員への勧誘を行う。エリアを分けて中期的に取り組むため、平成27年度は東北方面の調査を実施。 ※標記については、地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業で実施</p>
-------------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	27,951	24,915	52,866	0	0	0	52,866	正規	2.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	32,008	26,468	58,476	0	0	0	58,476	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	31,762	26,468	58,230	0	0	0	58,230	任期付	0.90	合計	3.70
27当初予算	40,182	25,300	65,482	0	0	0	65,482				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	職員出張旅費	1,064		1,064	旅費	職員出張旅費
需用費	観光パンフレット印刷費、PR用ノベルティ等	1,399	1,399	需用費	観光パンフレット印刷費、PR用ノベルティ等	903	
委託料	B-1グランプリを利用した観光PR、キャラクター活用業務等	6,279	6,279	委託料	旅行会社を対象とした明石観光招聘事業の実施、キャラクター活用業務等	3,100	
負担金補助及び交付金	観光協会運営補助金、ひょうごツーリズム協会負担金等	23,007	23,007	負担金補助及び交付金	観光協会運営補助金、ひょうごツーリズム協会負担金等	34,689	
その他	イラスト筆耕料、宅配便料金、会議室使用料等	13	13	その他	イラスト筆耕料、宅配便料金、会議室使用料等	210	
	<b>合計</b>		<b>31,762</b>		<b>合計</b>		<b>40,182</b>

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150002000-002	事務事業名	観光振興対策事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	観光入込客数	兵庫県観光客動態調査に基づく観光客数を指標とする。	人	4,719,293	4,898,623	5,000,000
	観光協会の新たな取り組み	年度ごとに実施している観光協会の新たな取り組みとその内容を指標とする。		組織体制の強化 ホームページリニューアル	法人化 新商品開発	ネット販売 新商品開発
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PR活動においては、市外・県外で開催されるイベントや私鉄主要各駅におけるPR活動(観光パンフレット配布等)などを実施することにより、市外の方々に対する明石の認知度向上に貢献している。</li> <li>・他自治体等との連携による県外の旅行会社向けの観光セミナーの開催は、明石への観光ツアー実施につながっている。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>【現状の課題及び今後の事業展開方針等】</p> <p>①配布先の特性に合わせて、配布する種類を見直すなど、より効果的なパンフレットの配布を行う。</p> <p>②明石観光協会については、観光協会事務所の場所移転や組織体制の見直し、観光関連サイトの運営強化、土産品販売等各種収益事業の検討を行うなどの取り組みを開始しており、今後数年間は積極的にバックアップしていく。</p> <p>③神戸・明石・姫路観光推進会議などの広域連携については、旅行会社等に対する観光セミナーの実施、各連携先の観光パンフレットの相互配布など、広域連携での観光客誘致に非常に効果的であり、今後もより連携の強化や、新たな連携などにも取り組む必要がある。</p> <p>④テレビ・雑誌・新聞などのマスメディアに明石やあかし玉子焼をPRし、B-1グランプリを利用した明石への観光客誘致を図るとともに、B-1グランプリ支部大会開催誘致について、あかし玉子焼ひろめ隊と十分に協議を重ね、他の支部会員の動向も見極めるなどの調査・検討を引き続き行っていく。</p> <p>⑤国内の明石焼店舗の出店状況を全国で調査するため、平成27年度はB-1グランプリ全国大会が青森県で開催されることを意識して東北方面の調査を実施する。調査結果を元に店舗リストや明石焼店舗マップ作成、観光協会明石焼部会への勧誘及び明石焼ポスター掲示依頼等を行っていく。</p>						

### 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 観光イベント事業		新規/継続	H26休廃止	整理番号	0150002000 - 003						
		分割/統合									
関連 予算 科目 目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容							
	款	商工費		事業所管課		産業振興部観光振興課					
	項	商工費		連絡先		(078)918-5018					
	目	観光費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度				
	事業	観光イベント事業		根拠法令・要綱等		観光立国推進基本法					
施策分野		3 産業・観光分野		実施方法		直営		補助・助成		その他	
		3-4 観光の振興				委託	○	指定管理			
個別計画		観光振興基本構想									
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 市民及び市外からの観光客										
	意図（どういう状態にしたいのか） 「子午線」をテーマとしたイベントなどの開催を通じ、「時のまち あかし」をPRするとともに、観光客の誘致を図り、まちににぎわいを創出する。										
事業 内容	①時の記念日関連事業運営補助 6月10日「時の記念日」を中心に「時」をテーマとして明石・時感動推進会議（時のウィーク実行委員会）が開催する年間を通じた各種イベント時の記念日関連事業を支援 〈来場者数〉 平成23年度 約45,000人 平成24年度 約60,000人 平成25年度 約60,000人（内メインデーは約40,000人） 平成26年度 約60,000人（内メインデーは約35,000人）										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
25決算	4,500	11,880	16,380	0	0	0	16,380	正規		ｱﾊﾞｲﾄ		
26当初予算	4,500	6,560	11,060	0	0	0	11,060	再任用		その他		
26決算	4,500	6,560	11,060	0	0	0	11,060	任期付		合計		
27当初予算												
26 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	27 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額					
		負担金補助及び交付金	4,500									
	合計		4,500		合計							

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150002000-003	事務事業名	観光イベント事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	時のウィークイベント開催時の来場者数	時をテーマに取り入れたイベント開催時の来場者数を指標とする。	人	60,000	60,000	/
						/
<b>指標で表せない成果</b>						
毎年6月10日からの1週間を時のウィークと定め、期間中に時をテーマとしたイベントを実施することにより、市内外へ日本標準時子午線の通るまち明石を広く宣伝・広報することができる。また、時に関連した事業を年間を通して行うことでさらなる効果をあげている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成26年度限りで休廃止						
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
平成26年度限りで休廃止						



# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	農業一般振興事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 001				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	農林水産業費		<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課				
	<b>項</b>	農業費		<b>連絡先</b>	(078)918-5017				
	<b>目</b>	農業振興費		<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	不明		
	<b>事業</b>	農業一般振興事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律ほか				
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	3-2 農業の振興			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	農業基本計画								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内農業者及び一般市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	明石市農業が魅力ある産業となり、「市民みんなが農業を支え 農業が元気になり 明石全体が豊かになる」ことを目的として、農業振興施策を計画的に推進し、以って本市農業の振興と発展に資する。

<b>事業内容</b>	①ヘアリーベッジやレンゲなどの緑肥作物を作付けし、減化学肥料・減農薬の農産物生産の取り組む農業者に対して助成を行うことで、環境保全型農業を推進する。(24年度:28経営体 13.4ha、25年度:26経営体 17.6ha、26年度:29経営体 21.0ha、27年度予定:46経営体 28ha)
	②明石の農業を維持・発展するため、県、JAと共に担い手育成支援事業に取組み、認定農業者の育成や、担い手に対する研修を行うとともに、農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)を借入れた認定農業者に利子補給する。(24年度 認定農業者数 45経営体、スーパーL借入0、25年度 認定農業者数、45経営体、スーパーL借入 1件、26年度 認定農業者数 44経営体、スーパーL借入 1件)
③市が明石市農業再生協議会を通じて農会に、関係文書の配布及び各農業者との連絡調整、農業経営基盤強化促進法の規定に基づく通知、申請等にかかる文書の伝達並びに実施状況の確認、水稲作況調査等各種農業統計並びに調査に関する事、市の発行する農業者向け広報文書の配布及びその他地区内の連絡調整を委託する。(市内 50農会)	
④鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律等に基づく鳥獣の捕獲及び保護に関すること並びに専門的な指導に関することを一般社団法人兵庫県猟友会明石支部に業務委託する。 (有害鳥獣数:24年度20頭、25年度36頭、26年度41頭)	
⑤農業振興地域の適正な土地利用を図るため、必要に応じて農業振興地域整備促進協議会を開催する。 (協議会開催回数: 24年度0回 25年度0回 26年度1回)	
(根拠法令・要綱等の続き) 食料・農業・農村基本法、明石市と農会等との連携に関する要綱、有害鳥獣捕獲事務取扱要領、農業振興地域の整備に関する法律、農業経営基盤強化促進法、明石市担い手育成総合支援協議会規約、明石市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要綱	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	6,635	12,265	18,900	3,075	0	17	15,808				
26当初予算	3,250	14,765	18,015	845	0	17	17,153	正規	1.75	パート	0.00
26決算	2,867	14,765	17,632	656	0	0	16,976	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	5,126	15,910	21,036	2,016	0	17	19,003	任期付	0.60	合計	2.35

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	農業振興地域整備促進協議会	119		報償費	農業振興地域整備促進協議会、農用地区域変更審査会	178
需用費	消耗品費 食糧費	267	需用費	消耗品費 修繕料 食糧費	273		
委託料	担い手育成総合支援事業・有害鳥獣捕獲業務・農業一般振興事	1,113	委託料	再生協議会委託・有害鳥獣等捕獲委託	1,500		
負担金補助及び交付金	スーパーL資金利子補給事業・環境保全型農業直接支援対策事業・その他負担金	1,045	負担金補助及び交付金	スーパーL資金利子補給事業・環境保全型農業直接支援対策事業・その他負担金	2,675		
その他	使用料 旅費	323	その他	使用料 旅費 備品購入費	500		
<b>合計</b>			2,867	<b>合計</b>			5,126

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-001	事務事業名	農業一般振興事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	集落営農組織数	集落営農組織は、優良農地であるほ場整備完了地の重要な担い手として位置づけている。	組織数	3	3	3
	環境保全型農業取組面積	緑肥(ヘアリーベッチ・レンゲ)を利用し、化学肥料・化学合成農薬の5割低減に取り組む環境にやさしい農業の取組面積	ha	17	21	28
	<b>指標で表せない成果</b>					
環境保全効果の高い営農活動の取り組みにより、安心安全な農作物が生産される。 集落営農組織や担い手が先進的な営農活動に取り組むことを推進。 有害鳥獣を駆除することで、農作物への被害を軽減している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
○農地を保全し、農業を維持するため、その担い手である集落営農組織や認定農業者に対して県等とも連携し、支援を行っていく。 担い手の研修や認定農業者の経営状況の確認等を行い、担い手育成を、県、JAと共に継続して取り組む。 ○アライグマ等の有害鳥獣の捕獲依頼件数は近年増加傾向にあり、今後とも、捕獲等を委託している猟友会明石支部と連携を密にし、農家等からの捕獲依頼にも敏速に対応することで、農産物の安定生産につなげていく。 ○関係文書の配布・回収を農会へ委託することで、地域の各農業者への連絡調整がスムーズに行われ、効率的な業務推進ができていく。 ○環境保全型農業直接支援対策により環境保全や安全・安心な農産物の生産に係る支援を継続して推進する。 江井ヶ島地区では、この制度を利用し、ヘアリーベッチ等を活用した安全・安心な米としてヘアリーベッチ米を販売しており、消費者からも好評を得ており、米のブランド化にも貢献している。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		水田農業振興対策事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 002			
				分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容						
	款	農林水産業費		事業所管課	産業振興部農水産課					
	項	農業費		連絡先	(078)918-5017					
	目	農業振興費		自治/法定	自治+法定	開始年度	不明			
	事業	水田農業振興対策事業		根拠法令 ・要綱等	食料・農業・農村基本計画、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律、経営所得安定対策実施要綱					
施策分野		3 産業・観光分野		実施方法	直営		補助・助成	○	その他	
		3-2 農業の振興			委託	○	指定管理			
個別計画		農業基本計画								
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 市内農業者及び一般市民									
	意図（どういう状態にしたいのか） 国の農業施策（経営所得安定対策）に併せて、食料自給力の向上、水田農業経営の安定化、地域水田農業の振興を図る。また、水田を活用したイベントや景観作物の助成を行い、農業者と市民の交流の場づくりや安全・安心の農産物の供給など、市民に「農」を提供し、地域農業の大切さや理解を深めてもらう。									
事業 内容	①水田農業に係る補助金 イベント・景観作物助成 米作り体験やレンゲ・コスモス祭など水田を活用した取組みに対して助成する。 イベント助成（平成24年度 7団体、平成25年度 9団体、平成26年度予定 9団体、平成27年度予定 9団体）									
	②生産調整に係る農会に対する委託費 明石市農業再生協議会を通じて市内50農会が行う生産調整に関する事務を委託する。									
	③経営所得安定対策に係る補助金 経営所得安定対策の実施主体である明石市農業再生協議会へ補助金を支払う。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,812	9,960	14,772	3,539	0	0	11,233	正規	1.40	パート	0.00
26当初予算	4,864	11,310	16,174	3,555	0	1,400	11,219	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	4,776	11,310	16,086	3,491	0	1,478	11,117	任期付	0.20	合計	1.60
27当初予算	4,845	12,000	16,845	3,507	0	1,400	11,938				

  

26年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	27年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費	5		5	報償費	農業再生協議会委員報償
需用費	消耗品費	94	94	旅費	近接地旅費	10	
委託料	農会委託料	593	593	需用費	消耗品費	76	
負担金補助及び交付金	水田農業振興対策事業補助金 経営所得安定対策直接支払推進事業補助金	4,084	4,084	委託料	農会委託料	600	
				負担金補助及び交付金	水田農業振興対策事業補助金 経営所得安定対策推進事業	4,100	
	合計		4,776		合計	4,845	

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-002	事務事業名	水田農業振興対策事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	補助対象イベント参加者数	補助を行なっている水田を活用したイベントの参加人数	人数	3,110	3,200	3,250

### 指標で表せない成果

- 1 食料自給率の向上と地産地消の推進。
- 2 米の消費拡大と次世代を担う児童生徒の米への理解を深め、米を中心とした食生活の普及を図る。
- 3 農作業や農業体験・地域との交流を通じて、市民に農業に対する理解を深めてもらう。
- 4 美しく住みよい農村環境の整備と、市民に潤いを与えるまちづくりを進める。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>○食料自給率の低迷、農業従事者の減少・高齢化等、わが国の農業は危機的な状況にある。特に米作においては、年々米のニーズの減少、米価の低迷が続いており、米農家にとっては経営の面でも厳しい状況にある。さらには、現在行われているTPP交渉の結果いかんでは米農家が大きな打撃をこうむる可能性もある。当市の水田農業においても、高齢化や後継者不足により、水田面積や農業者人口が減少する等深刻な状況に直面している。今後においても、国の農業施策との整合性を図りながら、地域水田農業の振興に取り組む。</p> <p>○イベント等への助成は、地域から強い要望もあり、子どもから大人まで地域の交流の場となり、コミュニティづくりにも大きな役割を果たしている。また、市民の農業イベント参加により農業への関心、大切さを周知する。</p> <p>○平成26年度からは、転作作物助成、教育田助成の廃止や一部事業の助成額の減額を行なう等、事業経費の削減に取り組んでいる。</p>						

平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	野菜産地育成事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 003			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	農林水産業費			事業所管課	産業振興部農水産課				
	項	農業費			連絡先	(078)918-5017				
	目	農業振興費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	野菜産地育成事業			根拠法令・要綱等	野菜生産出荷安定法 野菜流通改善実施要領 明石市野菜需給安定事業実施要綱				
施策分野	3 産業・観光分野			実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	3-2 農業の振興				委託	○	指定管理			
個別計画	農業基本計画									
事業の目的	対象（誰を・何を）									
	市内野菜生産者									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	野菜試験栽培、農業近代化施設整備補助などを通じて野菜農家の経営安定化を支援し、生産量維持・増加及び野菜産地の維持を図る。									
事業内容	①野菜生産振興事業 市の特産であるキャベツ・ブロッコリーの試験栽培を行い、高品質な品種（奨励品種）を選び出し、これの普及を図る等、産地強化に明石市園芸連合会と連携して取り組む。 (H25:キャベツ15種類 ブロッコリー9種類 H26:キャベツ15種類 ブロッコリー8種類 H27:キャベツ15種類 ブロッコリー9種類)									
	②パイプハウス導入補助 都市近郊型農業に適しているパイプハウスを利用した農作物の生産促進のため、パイプハウスの資材代の助成を行う。 (県1/3、市1/5補助)(H24:2棟(地産地消推進事業により実施) H25実績なし H26:1棟)									
	③産地育成試験 キャベツやブロッコリーなど明石の気候に適した品種の選定や生産性の向上を図るため、野菜品種比較試験、新規野菜試験等の栽培試験を明石市園芸連合会等に委託する。									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
25決算	754	8,065	8,819	0	0	0	8,819				
26当初予算	2,540	8,975	11,515	800	0	0	10,715				
26決算	1,045	8,975	10,020	0	0	0	10,020				
27当初予算	2,113	10,100	12,213	800	0	0	11,413				
26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	任期付	0.10	合計	1.30
	需用費	消耗品費・食糧費	8		需用費	消耗品費・食糧費	30				
	委託料	産地育成試験 野菜品種比較試験栽培委託料	380		委託料	産地育成試験 野菜品種比較試験栽培委託料	380				
	負担金補助及び交付金	野菜生産振興事業	570		負担金補助及び交付金	野菜生産振興事業、パイプハウス導入補助	1,630				
	その他	旅費 使用料等	87		その他	旅費 使用料等	73				
	合計		1,045		合計		2,113				

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-003	事務事業名	野菜産地育成事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	キャベツ・ブロッコリー奨励品種の活用状況	農家によるキャベツ・ブロッコリー奨励品種の購入数	袋 (トレー)	970袋	703袋、1873トレー	970袋、1900トレー
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプハウスなどの施設の導入補助、種子代助成、価格補てんを実施することにより、野菜農業者の経営安定を図り、産地育成や地産地消に貢献している。</li> <li>・新品種、新技術を導入することで野菜農業者の経営向上に貢献している。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>本市は、消費地である大都市圏に隣接していることから、キャベツ等の野菜生産が盛んな地域である。しかし、大型小売店が増加し、産地との契約栽培方式が増えていることや、生産者の高齢化のために生産量は減少傾向にある。生産者の高齢化に対応した安定した農業経営の確立を図るため、生産者の労働を軽減し、高付加価値の農産物を生産する必要がある。</p> <p>今後とも、JA、出荷組合、県農業改良普及センター、市で構成する明石市園芸連合会が主体となり、各関係機関が連携して新品種・学校給食用品種・新技術の導入の促進やキャベツ・ブロッコリー等の栽培普及等に継続して取り組む。</p> <p>平成25年度では、パイプハウス助成の減額や野菜検査委員報償の廃止等を行い、事業経費の削減に取り組んでいる。</p> <p>平成29年度に、パイプハウス助成を廃止する。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	地産地消推進事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 004					
				分割/統合								
				事業の分割/統合の内容								
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計										
	款	農林水産業費			事業所管課	産業振興部農水産課						
	項	農業費			連絡先	(078)918-5017						
	目	農業振興費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度				
	事業	地産地消推進事業										
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野			根拠法令・要綱等	明石市第5次長期総合計画							
	3-2 農業の振興				実施方法	直営		補助・助成	○	その他		
<b>個別計画</b>	農業基本計画					委託	○	指定管理				

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>									
	市内の農漁業者及び一般市民									
<b>事業の内容</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>									
	地元でとれた農水産物の地元消費を拡大することにより農・漁業者の経営安定を図るとともに、消費者との「顔のみえる」関係を通じて食の安全・安心を確立する。また、市民を対象としたイベントにより地元産品をアピールし、地産地消を推進する。									

<b>事業内容</b>	明石市地産地消推進実行委員会に次の事業を委託し、地産地消の取組みを推進する。									
	<p>①小学生と保護者を対象に農作物の栽培・収穫体験等の実施。(H15～) さつまいも、もち米の田植えと稲刈り、スイートコーンの収穫体験、小学3年生の授業にとり入れたキャベツの植付けと収穫体験を実施する。</p> <p>②加工商品、素材を生かしたレシピの開発や、イベントなどの実演販売を行い、地元産農水産物の消費拡大を促進する。</p> <p>③10月下旬に行われる兵庫県農林漁業祭に出展し、明石市内で生産されている農産物や明石の海で獲れる水産物、また、それらを使った加工品等の販売を行い、地元はもとより広く県内外にPRを行う。</p> <p>④市民を対象とした観光農園の推進を行う。(H24～)</p>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	4,800	8,065	12,865	0	0	0	12,865	正規	1.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	1,800	8,975	10,775	0	0	0	10,775	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	1,800	8,975	10,775	0	0	0	10,775	任期付	0.10	合計	1.40
27当初予算	1,800	10,920	12,720	0	0	0	12,720				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	地産地消推進事業		1,800		委託料
	<b>合計</b>		1,800		<b>合計</b>		1,800

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-004	事務事業名	地産地消推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	農水産物の栽培体験等の参加人数	イベントへの参加人数により、事業の定着度や有効性の指標とする。	人数	2,000人	2,000人	2,000人
	<b>指標で表せない成果</b>					
これまでの事業に加え、各年齢層、地域の方が参加できるように工夫するなど事業に変化をもたせ、地産地消の普及と消費を広めている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
○本事業の実施により、地元の新鮮な農産物を地元で消費する取り組みを行なうことで、市民に新鮮で安全な農産物の提供ができ、また、消費拡大が図られ、農業者、漁業者の育成にもつながる。 ○料理教室等において国の補助事業を活用し、経費の削減を図った。 ○今後、地産地消に係る条例を制定し、市民、関係団体等と連携を広め、取り組みの強化を図っていく。					



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	農業用施設維持管理事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 005		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	農林水産業費		<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課		
	<b>項</b>	農業費	<b>連絡先</b>	(078)918-5017			
	<b>目</b>	農地費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
	<b>事業</b>	農業用施設維持管理事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	法定外公共物管理条例 土地改良法			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
<b>個別計画</b>			委託	○	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	農業者及び地域住民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	農業者への改修用資材支給や農業用施設維持管理工事、土地改良施設維持管理適正化事業などを実施し、農業用施設の維持管理及び施設機能の保全に寄与する。

<b>事業内容</b>	<b>【事業内容】</b>	1. 農道、水路など農業用施設の緊急維持補修を行う。 2. 水利組合に対して、農業用施設の維持補修に必要な改修資材を支給する。 3. 水路境界ため池台帳システムの保守更新を行う。 4. 農業者と地域住民が共同で農業用施設の保全に取り組むことを目的とした多面的機能支払交付金にかかる市負担金の支払い。 ①農地維持支払 ・10aにつき3,000円を10ため池協議会へ支給 ②資源向上支払(共同活動) ・10aにつき1,800円を10ため池協議会へ支給 ③資源向上支払(長寿命化) ・10aにつき4,400円を10ため池協議会へ支給 5. 土地改良施設維持管理適正化事業にともなう兵庫県土地改良事業団体連合会への負担金の支払い。 (農業用施設の補修に必要な経費を5年間均等に積み立て、その5年間の定められた年度に整備補修を実施する事業) ①瀬戸川1号井堰 6. 土地改良施設維持管理適正化事業工事 ①瀬戸川1号井堰改修工事 * 補助率 国:30%県30%市20%地元20%
	<b>【実績】</b>	・緊急維持補修 H24年度 8,292千円 H25年度 13,395千円 H26年度 12,500千円 ・改修資材支給 H24年度 1,973千円 H25年度 1,915千円 H26年度 2,000千円 ・土地改良施設維持管理適正化事業 H26年度 清水川No.36、上川井堰改修工事 8,013千円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	21,687	22,680	44,367	0	0	5,399	38,968	正規	2.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	24,238	31,750	55,988	7,291	0	6,006	42,691				
26決算	33,682	31,750	65,432	8,200	0	0	57,232	再任用	0.90	その他	0.00
27当初予算	30,429	24,860	55,289	12,349	0	7,860	35,080	任期付	0.50	合計	3.90

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	農業用施設改修資材 消耗品費ほか	2,472		2,591	需用費	農業用施設改修資材 消耗品費ほか
委託料	システム保守管理業務委託	2,558	2,705	委託料	システム保守管理業務委託	2,705	
工事請負費	農業用施設維持管理費	22,720	9,700	工事請負費	農業用施設維持管理費	9,700	
負担金補助及び交付金	多面的機能支払交付金ほか	5,836	15,322	負担金補助及び交付金	多面的機能支払交付金ほか	15,322	
その他	旅費、使用料	96	111	その他	旅費、使用料	111	
<b>合計</b>			33,682	<b>合計</b>			30,429

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-005	事務事業名	農業用施設維持管理事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
農業者の要望により農業用施設の維持補修を行う事業であるため、指標等はない。 農業用施設の適正な維持管理を実施しており、農業用施設に大きな事故は起きていない。 ため池を地域の貴重な財産として、地域全体で水辺環境を保全する取り組みが広がっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
農業者が高齢化する中で、市単独の農業用施設の緊急維持補修に加えて、土地改良施設維持管理適正化事業、材料支給などによる地域全体で農業用施設を保全する取り組みは極めて効率的であるため、さらに事業を推進する。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名		土地改良事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 006			
			分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容						
	款	農林水産業費	事業所管課	産業振興部農水産課					
	項	農業費	連絡先	(078)918-5017					
	目	農地費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 24 年度			
	事業	土地改良事業	根拠法令 ・要綱等	土地改良法					
施策分野		3 産業・観光分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		3-2 農業の振興		委託	○	指定管理			
個別計画		農業基本計画							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	農業者及び地域住民								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	市単独事業及び国庫補助事業により農業用施設の補修及び改修を実施し、農業災害の防止と農業生産基盤の整備を行う。								
事業 内 容	【事業内容】								
	1. ため池、水路の不法投棄物の処分を行う。 2. 水路の不法占用物件調査等、市として境界測量が必要な箇所について境界測量を行う。 3. 農業災害の防止と農業生産の維持を目的に、地域要望に基づきため池や水路の補修及び改修を行う。 ①片淵池水路改修工事 ②ひょうたん池改修工事 ③立合池改修工事 4. いなみ野ため池ミュージアム運営協議会への負担金の支払い。 5. 地域ため池総合整備事業にともなう負担金の支払い。 (ため池の老朽化による災害を防止し、地域住民が安心して暮らせる環境整備を図る目的で実施する県営事業にかかる負担金) ①清水地区 ②松陰地区 ③江井ヶ島地区 *負担率 国:50%県29%市14%地元7% 6. 農村地域防災減災事業 ①雲楽池改修工事 ②17号池改修工事 *補助率 国:50%県20% 7. 流域貯留浸透事業 ①17号池改修工事 *補助率 国:1/3県:2/3 【実績】 市単独事業 H24年度 3地区 H25年度 2地区 H26年度 2地区 補助事業 H24年度 2地区 H25年度 15地区 H26年度 8地区								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	324,006	20,230	344,236	281,093	38,498	20,112	4,533	正規	2.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	101,799	31,260	133,059	55,650	18,700	23,800	34,909	再任用	1.00	その他	0.00
26決算	197,566	31,260	228,826	135,443	0	22,181	71,202	任期付	0.50	合計	4.30
27当初予算	223,789	27,660	251,449	110,640	47,000	57,500	36,309				

  

26年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	27年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	需用費		消耗品費ほか		264	需用費	
委託料		ため池クリーン事業	16,169	委託料		ため池クリーン事業	21,482
工事請負費		農業基盤整備促進事業 流域貯留浸透事業	173,843	工事請負費		農業基盤整備促進事業 流域貯留浸透事業	179,200
負担金補助及び交付金		土地改良事業負担金	7,032	負担金補助及び交付金		土地改良事業負担金	22,523
その他		旅費、使用料ほか	258	その他		旅費、使用料ほか	310
	合計		197,566		合計		223,789

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-006	事務事業名	土地改良事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	改修ため池数	老朽化等による改修実施ため池数	池	17	5	4
	ため池協議会数	ため池協議会数 (設立が必要な協議会数 25協議会)	組織	21/25	22/25	24/25
<b>指標で表せない成果</b>						
ため池を地域の貴重な財産として、地域全体で水辺環境を保全する取り組みが広がっている。 明石市のため池の数を104個と決定した。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
ため池協議会の設立を推進し、ため池を地域の貴重な財産とした地域全体で水辺環境を保全する取り組みを推進する。 平成23年度に実施した灌漑用ため池流域等調査事業及び浸水シミュレーションの結果を踏まえ、県営地域ため池総合整備事業や農業 基盤整備促進事業、農村地域防災減災事業などを活用した効果的な手法でため池の改修を実施する。 また、浸水シミュレーションに基づき、緊急放流施設の整備を進め、大雨時の雨水貯留機能を高めることで、ため池下流域の浸水被害軽減にも有効なため池整備を実施する。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	国営東播用水農業水利事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 007			
				分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	農林水産業費			事業所管課	産業振興部農水産課				
	項	農業費			連絡先	(078)918-5017				
	目	農業構造改善事業費			自治/法定	自治+法定	開始年度	平成 2 年度		
	事業	国営東播用水農業水利事業			根拠法令・要綱等	土地改良法				
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他 ○			
	3-2 農業の振興				委託	指定管理				
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>									
	東播用水受益地農業者									
<b>事業の目的</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>									
	東播用水受益地に東播用水を安定的に供給することにより、受益地農業者の農業生産力の向上を図る。									

<b>事業内容</b>	<b>【事業内容】</b>									
	1. 国営東播用水事業における維持管理及び総合管理にともなう負担金 ①国営土地改良事業負担金 国営東播用水事業一期事業における負担金の明石市償還分 2,425千円 ②東播用水土地改良区維持管理賦課金 東播用水の維持管理にかかる東播用水土地改良区への賦課金 4,969千円 ③総合管理事業負担金 東播用水の総合管理にかかる負担金 1,178千円 <b>【実績】</b> ①国営土地改良事業負担金 H24年度 14,905千円   H25年度 10,869千円   H26年度 8,245千円 ②東播用水土地改良区維持管理賦課金 H24年度 4,969千円   H25年度 4,969千円   H26年度 4,969千円 ③総合管理事業負担金 H24年度 1,087千円   H25年度 1,389千円   H26年度 1,183千円									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	17,717	16,080	33,797	425	0	10,932	22,440	正規	0.70	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	14,661	4,490	19,151	425	0	9,351	9,375	再任用	0.10	その他	0.00
26決算	14,485	4,490	18,975	355	0	0	18,620	任期付	0.00	合計	0.80
27当初予算	9,131	6,080	15,211	392	0	8,820	5,999				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	東播用水二期事業関係旅費	56		70		
負担金補助及び交付金	国営土地改良事業負担金ほか	14,429	10				
			9,051				
	<b>合計</b>	<b>14,485</b>	<b>9,131</b>				

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-007	事務事業名	国営東播用水農業水利事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
国営東播用水事業における維持管理及び総合管理にともなう負担金のため、指標等はなじまない。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
国営東播用水事業の関係自治体(4市1町)として、負担金の償還及び維持管理事業のために、事業を実施するとともに、2期事業完了に向けて、関係機関及び受益地農業者と協議の上、事業を推進する。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名	清水新田地区圃場整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 008				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	農林水産業費							
	項	農業費							
	目	農業構造改善事業費							
	事業	清水新田地区圃場整備事業							
施策分野		3 産業・観光分野		事業所管課 産業振興部農水産課 連絡先 (078)918-5017 自治/法定 自治事務 開始年度 平成 24 年度 根拠法令・要綱等 土地改良法					
3-2 農業の振興									
個別計画		農業基本計画		実施方法					
				直営	補助・助成		○	その他	
				委託	指定管理				

事業の目的	対象（誰を・何を）							
	清水新田地区農業者							
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）							
	清水新田地区において圃場整備を実施し、分散した農地の集約化を図ることで、地区内の農業生産性を向上させる。							

事業内容	【事業内容】 清水新田圃場整備事業における清水新田土地改良区への補助金(明石市負担分)の支払い。							
	【平成27年度事業】							
	1. 補助率 31.5% 負担割合(国負担率:50%、県負担率:13.5%、市負担率:31.5%、地元負担率:5%) 2. 工事内容 平成27年度事業費 20,000千円 工事請負費 10,000千円 測量試験費 10,000千円							
	【全体事業】 1. 総事業費 264,000千円 2. 対象面積 16.7ha(水田15.0ha、畑0.3ha、その他1.4ha) 3. 工事計画 整地工14.3ha 用水路工2,122m 排水路工2,522m 4. 工期 H24年度～H28年度 5. 補助率 31.5% 負担割合(国負担率:50%、県負担率:13.5%、市負担率:31.5%、地元負担率:5%) 6. 実施主体 清水新田土地改良区  【実績】 H24年度 補助額 5,985千円 (全体事業費 19,000千円) H25年度 補助額 37,847千円 (全体事業費 120,149千円) H26年度 補助額 23,186千円 (全体事業費 73,608千円)							

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
25決算	37,847	9,400	47,247	0	0	0	47,247	正規	0.30	パート	0.00		
26当初予算	22,050	2,490	24,540	0	22,000	0	2,540	再任用	0.00	その他	0.00		
26決算	31,185	2,490	33,675	0	0	0	33,675	任期付	0.00	合計	0.30		
27当初予算	11,800	2,460	14,260	2,750	2,400	275	8,835						
26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額						
		負担金補助及び交付金	清水新田土地改良区圃場整備事業補助金		31,185		負担金補助及び交付金	清水新田土地改良区圃場整備事業補助金	6,300				
							工事請負費	集落基盤整備事業	5,500				
	合計		31,185		合計		11,800						

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-008	事務事業名	清水新田地区圃場整備事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
清水新田地区において、農業生産力の向上だけでなく、市民農園の整備など、地域住民が農業に親しむ機会や場所を提供し、明石農業全体の活性化にも貢献する。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
圃場整備完了までに営農組合を設立し、農作業の共同化を図り、効率的な農業経営と担い手対策を進める。						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	水産一般振興事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 009						
				分割/統合									
				事業の分割/統合の内容									
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計											
	<b>款</b>	農林水産業費			<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課							
	<b>項</b>	水産業費			<b>連絡先</b>	(078)918-5017							
	<b>目</b>	水産業振興費			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 31 年度					
	<b>事業</b>	水産一般振興事業			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市補助金等交付規則、明石市水産業補助金交付要綱、消防法							
<b>施策分野</b>		3 産業・観光分野			<b>実施方法</b>	直営			補助・助成	○	その他		
<b>個別計画</b>		水産業振興計画				委託	○		指定管理				
<b>3-3 水産業の振興</b>													

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内に住所を有する水産業協同組合法で定める水産業協同組合及びその組合員。										
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	沿岸漁業の近代化を図り、経営の合理化と安定化を図る。 明石タイ・タコ・ノリ等の水産物や、スイートコーン・キャベツ・イチゴ等の農産物等、明石の数々の製品の国内外における認知を高め、販路開拓や市場拡大を図り、併せて高付加価値化による収益性の向上を図る等、農業・漁業の活性化と経営安定化を目指す。										
<b>事業内容</b>	①多目的倉庫の維持管理を行う。(平成8年から) 警備業務・消防設備点検業務等  ②明石産品ブランド化事業 ブランド化を進めるため、「新商品の開発」、明石産品の「プロモーション販売」の開催やメディアを駆使した「PR」などの事業を広く展開する。  (実績) H24: 西武高槻店、よしもと47ご当地市場で「明石観光物産展」を開催。東京明石会で明石産品のPRを実施。 H25: 東京丸の内「ひょうご食のプレミアム in Tokyo」に出展し、明石産品のPRを実施。 H26: 大阪での「商談会」への出展、生産現場での「産地見学会」を開催し、ブランド力強化を推進。											
	(財政計画) ①漁業操業安全推進事業 漁船保険の個人負担保険料の14.0%を補助。(S.31~)[財政計画] ②漁業近代化資金等補助事業 漁業近代化資金の貸付実行額の1.6%以内を補助。 豊かな海づくり資金の貸付実行額の0.8%以内を補助。(S.44~)[H26年度限りで廃止] ③のり養殖経営安定対策事業 特定養殖共済(のり共済)の契約者負担額の14.0%を補助。(H.8~)[財政計画]											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	46,164	5,395	51,559	0	0	0	51,559	正規	0.65	パート	0.00
26当初予算	3,823	7,055	10,878	0	0	3	10,875	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	46,081	7,055	53,136	0	0	0	53,136	任期付	0.00	合計	0.65
27当初予算	2,620	5,330	7,950	0	0	3	7,947				

  

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	近接地旅費		229		旅費
	需用費	消耗品、修繕料、食糧費、光熱水費	123		需用費	消耗品、修繕料、食糧費、光熱水費	133
	役務費	多目的倉庫電話使用料	72		役務費	多目的倉庫電話使用料	74
	委託料	多目的倉庫警備業務委託 明石産品ブランド化事業	3,269		委託料	多目的倉庫警備業務委託 明石産品ブランド化事業	2,070
	負担金補助及び交付金	(財計)漁業操業安全推進事業 など	42,388		負担金補助及び交付金	(負担金)兵庫県のり養殖技術者研修会負担金	3
					負担金補助及び交付金	(財計)漁業操業安全推進事業 など(39,200)	
	<b>合計</b>		46,081		<b>合計</b>		2,620

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-009	事務事業名	水産一般振興事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果						
<b>指標で表せない成果</b>						
漁業操業安全推進事業では漁船保険へ加入促進し、不慮の漁船事故による損害を円滑かつ迅速に処理するとともに、漁業者の負担の軽減及び漁業操業回復の早期化に寄与している。のり養殖経営安定対策事業ではのり共済への加入を奨励支援し、天候や海況による収穫の変動を受けやすいのり養殖漁業経営の安定に寄与している。 明石産品ブランド化事業では本年度の取り組みとして、「商談会への参加」「飲食店を介した消費喚起」により明石の農水産物を広くPRする方法を駆使し、消費者に「明石」を印象付け、明石産品の普及に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
（多目的倉庫） 管財課を含め、現在倉庫を使用している他課と、他の倉庫へ保管場所移動等協議をおこない、施設の廃止を検討する。 （ブランド化） 明石産品のブランド化を目指す事業を成功させるためには、事業の中心である「物産展」事業、物産展へ送りこむための「商品開発」事業、物産展及び明石の魅力をアピールして集客するためのメディアを活用した「PR」事業などを複合的に組み合わせ、複数年継続することにより他者より認知されることが必要である。 （水産業補助金） 将来的には漁業者数、漁船数の自然減に伴って加入件数及び契約金額も漸減傾向にあるので、事業費（規模）は次第に減少していくことになる。 しかし、天候、海況や資源量など自然条件の予測できない変動の影響が漁業経営の不安定性に直結する1次産業にとって、漁業経営の安定化のためには負担軽減となる補助金は有効であると感じている。ゆえに、補助金の減少には漁業者は不安を感じていることから、反発はかなり強いので、事業規模の見直しについては関係機関との協議のうえ検討する。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	栽培漁業推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 010	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	農林水産業費	<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課		
	<b>項</b>	水産業費	<b>連絡先</b>	(078)918-5017		
	<b>目</b>	水産業振興費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明
	<b>事業</b>	栽培漁業推進事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	漁業法、水産資源保護法、持続的養殖生産確保法		
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	
	3-3 水産業の振興		委託	○	指定管理	
<b>個別計画</b>	水産業振興計画					

<b>事業の目的</b>	<p><b>対象（誰を・何を）</b> 水産資源</p> <p><b>意図（どういう状態にしたいのか）</b> マダイ、マダコ、ヒラメはじめとする魚介類は気象、海況、自然の条件により漁獲量変動し、減少することが多いことから主要な水産種苗を適地に放流することで資源維持の底支えを図り、より安定した漁獲高が上がるようにする。</p>
<b>事業内容</b>	<p>①漁業者から聞き取りなどを行い、明石市地先の沿岸海域に適した種苗を種苗生産施設から調達し、適地に放流する。 マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流する。</p> <p>(実績) H24: マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流。 H25: マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流。 H26: マコガレイ、ヒラメ、メバル、オニオコゼ、マダイを放流。</p> <p>②兵庫県漁業調整規則34条の3で規定された稚魚育成漁場(禁漁区)の適切な管理を行う。</p> <p>③マダコ産卵用タコツボを明石市地先の好適地へ投入する。 明石市地先海域へタコツボ3,100個を投入する。</p> <p>(実績) H24: 明石地先海域へタコツボ3,200個を投入。 H25: 明石地先海域へタコツボ3,200個を投入。 H26: 明石地先海域へタコツボ3,100個を投入。</p>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	3,727	4,565	8,292	0	0	0	8,292	正規	0.55	アハハハ	0.00
26当初予算	4,092	6,225	10,317	0	0	0	10,317				
26決算	4,081	6,225	10,306	0	0	0	10,306	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	4,092	4,510	8,602	0	0	0	8,602	任期付	0.00	合計	0.55
<b>26年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>27年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>				
	需用費	産卵用たこつぼ購入費	1,607		旅費	近接地旅費	10				
	委託料	栽培漁業推進事業運営委託料等	2,474		需用費	産卵用たこつぼ購入費	1,608				
					委託料	栽培漁業推進事業運営委託料等	2,474				
<b>合計</b>			4,081	<b>合計</b>			4,092				

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-010	事務事業名	栽培漁業推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	放流尾数	種苗放流した有用水産魚種の数 メバル、マコガレイ、マダイ、ヒラメ、オニオコゼなど	尾	36,500	32,800	32,800
	産卵用たこつぼ	地先海域に投入設置したたこつぼの数	個	3,200	3,100	3,100
<b>指標で表せない成果</b>						
マダイやヒラメほかの種苗放流並びに産卵用たこつぼの投入に対する効果として漁獲量に現れるのは難しいものの、気象、海況、自然条件により変動しやすい資源に大きな変動や著しい減少がないことから資源量維持の底支えに貢献している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>「栽培漁業」に関する事業は、明石市を「さかなのまち」としてPRをすすめるうえで、最低限実施すべき漁業振興策ととらえている。                      （産卵用たこつぼ）                      「さかなのまち あかし」の看板魚種であるマダコ資源を維持、活用を継続していくためには、投入にかかる作業員の人件費、作業船の備船料に加えて、受益者負担の考えのもと、たこつぼ購入代金について協力的にとらえているので、漁業者側にも応分の負担を求めている。</p> <p>（種苗放流）                      市、県、関係機関と連携して、水産資源保護について支援の責務が高く、近隣市町間で歩調を合わせて協力することが必要不可欠となっているので、事業規模や種苗の選択についての見直しには関係機関との協議のうえで検討する。また、これについても、放流にかかる作業員の人件費、作業船の備船料に要する経費に加えて、種苗代について協力的にとらえているので、漁業者側にも応分の負担を求められるように協議している。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 のり養殖緊急支援対策事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 011		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	農林水産業費	事業所管課	産業振興部農水産課			
	項	水産業費	連絡先	(078)918-5017			
	目	水産業振興費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	事業	のり養殖緊急支援対策事業	根拠法令・要綱等		のり養殖緊急支援対策事業交付要綱、明石市豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給要綱、明石市豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助交付要綱ほか		
施策分野		3 産業・観光分野	実施方法	直営	補助・助成	その他	○
		3-3 水産業の振興		委託	指定管理		
個別計画		水産業振興計画					

事業の目的	<b>対象（誰を・何を）</b>	
	のり養殖業を営む漁業者（G号沈没による油濁被害を受けたのり養殖業者）	
事業内容	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	
	急激な経営の悪化に対処するため緊急の支援を行い、経営の再建及び安定を図る。	
平成20年3月5日の船舶事故による油濁被害により、豊かな海づくり資金(災害資金)の融資を受けた漁業者に利子補給及び、信用保証料を補助する(平成27年度まで)。同じく、農林漁業セーフティネット資金の利子補給を行う(平成29年度まで)。		
H27: 豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給 184千円(295件) 豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助 1千円(295件) 農林漁業セーフティネット資金利子補給 4,089千円(279件)		
(実績)		
H24: 豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給 6,272千円(295件) 豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助 2,369千円(295件) 農林漁業セーフティネット資金利子補給 9,134千円(279件)		
H25: 豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給 4,009千円(295件) 豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助 1,466千円(295件) 農林漁業セーフティネット資金利子補給 7,352千円(279件)		
H26: 豊かな海づくり資金(災害資金)利子補給 1,880千円(295件) 豊かな海づくり資金(災害資金)信用保証料補助 603千円(295件) 農林漁業セーフティネット資金利子補給 5,654千円(279件)		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	12,827	2,905	15,732	0	0	0	15,732	正規	0.35	パート	0.00
26当初予算	8,284	3,735	12,019	0	0	0	12,019	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	8,137	3,735	11,872	0	0	0	11,872	任期付	0.00	合計	0.35
27当初予算	4,274	2,870	7,144	0	0	0	7,144				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	のり養殖漁業に係る融資利子等の補助		8,137		負担金補助及び交付金
	合計		8,137		合計		4,274

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-011	事務事業名	のり養殖緊急支援対策事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
近年多発しているノリの色落ち被害と平成20年3月5日に発生した明石海峡船舶事故の沈没船からの流出油による油濁被害の甚大さから緊急避難的な措置であり、当時の借入金の利子等負担を軽減する支援を行うことで漁業経営の一助となっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
豊かな海づくり資金(災害資金): H27.6.30またはH27.12.31まで(平成27年度まで) 豊かな海づくり資金信用保証料: H27.3.10またはH27.9.10まで(平成27年度まで) 農林漁業セーフティネット資金: H30.3.14まで(平成29年度まで)						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	漁港管理事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 012			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	農林水産業費						
	<b>項</b>	水産業費						
	<b>目</b>	漁港管理費						
	<b>事業</b>	漁港管理事業						
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課				
	3-3 水産業の振興			<b>連絡先</b>	(078)918-5017			
<b>個別計画</b>	水産業振興計画		<b>自治/法定</b>		自治事務		<b>開始年度</b>	平成 20 年度
				<b>根拠法令・要綱等</b>	漁港漁場整備法			
		<b>実施方法</b>	直営		<input type="radio"/>	補助・助成		その他
			委託		指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	林崎漁港を主とする市管理の4漁港
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	利用者の安全の確保、環境美化の向上、施設の適正な維持を行い、良好な漁業活動ができること。また林崎漁港の親水、休憩施設については市民等が快適に利用できるようにする。

<b>事業内容</b>	①漁港の維持管理事業 ■漁港施設機能強化事業：(林崎漁港) 地震や津波、高潮等による自然災害から漁港・漁村を守るため、漁港施設の機能診断を実施し、その結果に基づき、防波堤の嵩上げや岸壁の耐震化対策などにより施設の機能強化に取り組む。 ■海岸堤防等老朽化対策事業：(林崎漁港：漁港区域内海岸保全施設) 地震や津波、高潮等による自然災害から漁港・漁村を守るため、海岸保全施設の老朽化点検を実施し、その結果に基づき、防波堤の嵩上げなどにより施設の保安全管理に取り組む。 ■H23年度に実施した水産物供給基盤機能保全事業(ストックマネジメント事業)で策定された機能保全計画に基づき、漁港施設の長寿命化を図りつつ更新コストを平準化するように保全工事を順次行う。(林崎漁港・魚住漁港) ・街路灯維持補修工事 ・修景緑地等清掃維持作業 ・漁港施設補修工事 ・定期的な安全確認  (実績) H24：林崎漁港内の浮棧橋を撤去。 H25：魚住漁港の消波ブロック積み替え工事を施工。 H26：林崎漁港施設耐震機能診断
-------------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	15,342	4,150	19,492	3,357	0	8,588	7,547	正規	0.50	パート	0.00
26当初予算	54,718	5,810	60,528	20,000	0	8,588	31,940	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	12,202	5,810	18,012	0	0	0	18,012	任期付	0.00	合計	0.50
27当初予算	30,067	4,100	34,167	7,500	0	8,588	18,079				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	48		27	旅費	近接地旅費
需用費	消耗品、修繕料、光熱水費(電気・水道)	2,835	27	需用費	消耗品、修繕料、光熱水費(電気・水道)	2,190	
委託料	漁港緑地等環境保全維持作業	2,581	27	役務費	プレジャーボート、放置車両所有者照会手数料	10	
工事請負費	林崎漁港内街路灯維持補修工事・漁港施設補修工事	5,898	27	委託料	漁港施設等耐震機能診断・漁港緑地等環境保全維持作業	19,800	
負担金補助及び交付金	兵庫県漁港漁場協会年会費	840	27	工事請負費	林崎漁港内街路灯維持補修工事・漁港施設補修工事	7,400	
				負担金補助及び交付金	兵庫県漁港漁場協会年会費	617	
	<b>合計</b>	<b>12,202</b>			<b>合計</b>	<b>30,067</b>	

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-012	事務事業名	漁港管理事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	漁船数	市が管理している漁港に係留している漁船数	隻	381	381	381
	<b>指標で表せない成果</b>					
漁業活動の基地として、施設の良い環境を維持することで円滑な漁業活動に寄与した。 漁港環境の改善のために設置した休憩所や修景緑地等を常に良好な状態に保ち、漁業者や市民の憩いの場を確保し、明るい漁村づくりに寄与した。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
（漁港施設等の地震・津波防災対策） 東海、東南海・南海地震における防災対策推進地域等では、地震・津波災害に対する漁港の防災対策にかかる緊急整備に取り組む必要がある。 そこで、平成26年から28年にかけて、林崎漁港では、漁港や背後集落における人命の安全確保を最重視し、人的・経済的被害を最小限に抑える「減災」の観点から、予測される地震の震度や津波の浸水高等に対して漁港施設の安全が十分に確保されているか検証を行い、その結果に基づいて安全が確保されていない漁港施設の機能強化（耐震化及び液状化対策を含む。）を図る事業に取り組んでいく。						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	沿岸漁場整備・構造改善事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 013		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	農林水産業費					
	<b>項</b>	水産業費					
	<b>目</b>	沿岸漁業構造改善事業費					
	<b>事業</b>	沿岸漁場整備・構造改善事業					
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課			
	3-3 水産業の振興		<b>連絡先</b>	(078)918-5017			
<b>個別計画</b>	水産業振興計画		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 61 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	水産基本法、漁港漁場整備法、環境・生態系保全対策実施要領、環境・生態系保全活動支援交付金要綱、(県)豊かな海創生支援交付金等交付要綱			
		<b>実施方法</b>		直営	補助・助成	その他	○
			委託	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	明石市沿岸海域 漁場環境
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	漁業生産力の向上、稚魚の育成場としての水域確保と資源保護を行う。 漁場環境を改善し、豊かな漁場としての機能を高める。

<b>事業内容</b>	<p>①「水産多面的機能発揮活動支援事業」（平成25年度～平成27年度） 藻場・干潟等の保全と機能回復を図るため、浅場での海底耕耘、二枚貝放流や魚食文化の伝承等の漁業者を中心とした活動を支援する。 市が事業費の約4分の1の500万円を負担。 (国費50/100 県費25/100 市費25/100)</p> <p>※H26年度から「環境・生態系保全活動支援事業」から「水産多面的機能発揮活動支援事業」に名称変更された。</p> <p>②鹿之瀬漁場開発協議会 ※明石市、淡路市、漁業者の3者で構成し、漁場造成と種苗放流を行っている。 (通常会費10万円、事業負担金490万円。) ・魚礁設置事業として、鋼製魚礁を2基設置する。 ・放流事業として、ヒラメを明石市、淡路市の地先漁場に放流する。 ・調査事業として、鹿之瀬及び周辺漁場において試験操業、潜水調査する。</p> <p>(実績) H26年: ・魚礁設置事業として、鋼製魚礁を2基、鹿之瀬海域に設置。 ・放流事業として、ヒラメを明石市、淡路市の地先漁場に放流。 ・調査事業として、鹿之瀬及び周辺漁場において試験操業、潜水調査等による漁場調査を行い、魚礁の設置状況、魚類の蜻集及び付着生物の状況などの実態を把握。(S.61～)</p>
-------------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,273	5,395	15,668	200	0	0	15,468	正規	0.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	10,583	6,640	17,223	200	0	0	17,023				
26決算	10,238	6,640	16,878	200	0	0	16,678	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	10,583	5,330	15,913	200	0	0	15,713	任期付	0.00	合計	0.65

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	近接地旅費		104		旅費
	需用費	消耗品費	226		需用費	消耗品費	230
	使用料及び賃借料	備船料	160		使用料及び賃借料	備船料	160
	負担金補助及び交付金	(負担金) 鹿之瀬開発協 等	5,084		負担金補助及び交付金	(負担金) 鹿之瀬開発協 等	5,093
	負担金補助及び交付金	(補助金) 水産多面的機能発揮対策	4,664		負担金補助及び交付金	(補助金) 水産多面的機能発揮対策	5,000
	<b>合計</b>		<b>10,238</b>		<b>合計</b>		<b>10,583</b>

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-013	事務事業名	沿岸漁場整備・構造改善事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	活動組織数	機能発揮対策活動を行う活動組織	組織	6	6	5
	魚礁	鹿之瀬漁場開発協議会で設置した魚礁の数	基	2	2	2

### 指標で表せない成果

水産多面的機能発揮対策事業では、漁業者を中心に海底耕耘や二枚貝放流により漁場環境の保全・改善が進んでいる。鹿之瀬漁場開発協議会では鋼製魚礁を2基設置するほか、放流事業としてヒラメを地先漁場に放流、鹿之瀬漁場及び周辺漁場において試験操業、潜水調査等による漁場調査を行っており、その結果からアジ・スズキ等の回遊性魚類、カワハギ・カサゴ、アナゴなどの定着性魚類、マダコなど多数の魚介類が蛸集していることが確認できている。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
	<p>（水産多面的機能発揮対策事業）                      これまでの環境保全活動に加えて、保全活動区域における機能低下生物の除去を機能発揮対策活動に加える。さらに、新規事業メニューとなる「教育と啓発の場の提供」を活用し、学校等に食材提供といった従前と同様の活動を実施できるようにして児童・生徒に対して「魚食文化」を伝承する機会を提供する。</p>					

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	沿岸漁業構造改善事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 014		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	農林水産業費					
	<b>項</b>	水産業費					
	<b>目</b>	沿岸漁業構造改善事業費					
	<b>事業</b>	沿岸漁場整備・構造改善事業					
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課			
	3-3 水産業の振興		<b>連絡先</b>	(078)918-5017			
<b>個別計画</b>	水産業振興計画		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 20 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	産地水産業強化支援事業実施要綱、産地水産業強化支援事業交付要綱、兵庫県農林水産部補助金交付要綱、水産資源回復対策施設整備費補助要綱			
<b>実施方法</b>			直営		補助・助成	○	その他
			委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市内ノリ養殖業協業体
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	輸入品に対し品質面・価格面に対抗できるよう経営体質を強化する。

<b>事業内容</b>	「ノリ養殖業経営構造改善事業」 ノリ養殖業関係施設の導入に対する補助金の交付(国費50/100 県費6/100)	
	H27年度分:	大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 2件
	(実績)	H23: 大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 4件
	(H24.3月補正分)→H24年度へ繰越分:	大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 3件 ノリ高性能刈取船導入 2件
	H24当初分:	事業なし
	(H25.3月補正分)→H25年度へ繰越分:	ノリ高性能刈取船導入 4件
	(H26.3月補正分)→H26年度へ繰越分:	大型ノリ自動乾燥機及び周辺機器導入 1件 ノリ高性能刈取船導入 1件

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	145,661	4,980	150,641	145,644	0	0	4,997	正規	0.60	パート	0.00
26当初予算	84,050	6,225	90,275	84,750	0	0	5,525	再任用	0.00	その他	0.00
26決算	69,200	6,225	75,425	69,180	0	0	6,245	任期付	0.00	合計	0.60
27当初予算	168,130	4,920	173,050	169,500	0	0	3,550				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	40		130		
負担金補助及び交付金	(補助金) ノリ養殖業経営構造改善事業	69,160	168,000				
<b>合計</b>			69,200	<b>合計</b>			168,130

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-014	事務事業名	沿岸漁業構造改善事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	大型ノリ自動乾燥機	補助事業により導入された乾燥機の数	基	0	1	2
	ノリ高性能刈取船	補助事業により導入された刈取船の数	隻	4	1	0
<b>指標で表せない成果</b>						
近年中国や韓国からの安価なノリの輸入量増大の懸念や漁場環境の悪化に即対応し、生産能力増大と生産経費削減により品質面、価格面においても他産地との競争力を強化し、もって漁労所得を向上できるようにノリ養殖業者の経営体質の改善を図った。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>（ノリ養殖経営構造改善事業）</p> <p>平成24年度から産地水産業強化支援事業（国の補助事業名）に移行し、事業採択要件が5戸以上で構成された協業体、産地協議会の設置など事業実施に向けた条件が従前に比べて厳しくなっている。</p> <p>これまで平成20年より同様の補助事業を継続してきたことから、ノリ高性能刈取船または大型ノリ自動乾燥機の導入（更新）に前向きなところはほぼ導入済みとなっており、新規で事業実施を希望する協業体は次第に減少する見込み。</p>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 水稲共済事業  他 3 事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 015		
		分割/統合	事業の統合				
関連 予算 科目	会計	農業共済事業					
	款	事業支出					
	項	農作物勘定支出					
	目	農作物共済金					
	事業	水稲共済金交付事業					
事業の分割/統合の内容		水稲無事戻金交付事業、業務勘定繰出金、農業共済基金積立事業の統合					
事業所管課		産業振興部農水産課					
連絡先		(078)918-5017					
自治/法定		法定受託事務	開始年度	昭和 45 年度			
根拠法令・要綱等		農業災害補償法、明石市農業共済条例、明石市農業共済事業基金条例					
実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
		委託		指定管理			
施策分野		3 産業・観光分野 3-2 農業の振興					
個別計画		農業基本計画					
事業の目的	対象（誰を・何を） 一定規模以上水稲を耕作している農家						
	意図（どういう状態にしたいのか） 稲作農家が不慮の事故によって受ける損失を補填して、農業経営の安定を図り、農業生産力の発展に資する。						
事業内容	①農家と国が掛金を半分ずつ負担して共済事業を行っている。  ・自然災害等による水稲被害が生じた場合に共済金を支払う。 ・被害が微少の場合は無事戻金として、掛金の一部を返還する。 ・水稲損害防止事業補助金の財源として、業務勘定へ繰り出す。 ・前年度の剰余金を基金へ積立て、水稲共済不足金及び水稲損害防止事業並びに水稲無事戻金の財源とする。						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	1,154	5,870	7,024	0	0	1,154	5,870				
26当初予算	3,518	5,510	9,028	0	0	3,518	5,510	正規	0.60	パート	0.00
26決算	1,248	5,510	6,758	0	0	1,248	5,510	再任用	0.40	その他	0.00
27当初予算	2,894	6,280	9,174	0	0	2,894	6,280	任期付	0.00	合計	1.00

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	水稲共済金		0		負担金補助及び交付金
	負担金補助及び交付金	水稲無事戻金	521		負担金補助及び交付金	水稲無事戻金	1,000
	繰出金	業務勘定へ繰り出し	90		積立金	業務勘定へ繰り出し	394
	積立金	前年度剰余金を基金に積立	637		繰出金	前年度剰余金を基金に積立	543
	合計		1,248		合計		2,894

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-015	事務事業名	水稲共済事業	他 3 事業
------	----------------	-------	--------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	共済金支払額	稲作農家の自然災害による減収量に対して支払う共済金	千円	28	0	957
	指標で表せない成果					
農業共済は、農家が災害に備えて掛金を出し合い共同準備財産をつくり、災害が発生した時に共済金を支払うことで、農家の経営安定が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
水稲耕作者が自然災害や病虫害等の不慮の災害によって被る損失を補てんし、農業経営の安定を図る有効な制度であり、今後も、農業災害補償法で定める現行制度が続く限り、継続する必要がある。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	家畜共済事業  他 4 事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150003000 - 016		
		<b>分割/統合</b>	事業の統合				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	農業共済事業	<b>事業の分割/統合の内容</b>	家畜保険料納付事業、病傷共済金交付事業、家畜共済技術料納付事業、業務勘定繰出金、農業共済基金積立事業の統合			
	<b>款</b>	事業支出	<b>事業所管課</b>	産業振興部農水産課			
	<b>項</b>	家畜勘定支出	<b>連絡先</b>	(078)918-5017			
	<b>目</b>	家畜保険料	<b>自治/法定</b>	法定受託事務	<b>開始年度</b>	昭和 45 年度	
	<b>事業</b>	家畜保険料納付事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	農業災害補償法、明石市農業共済条例、明石市農業共済事業基金条例			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他
<b>個別計画</b>	農業基本計画		委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	酪農家
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	乳牛の共済事故等の災害による損失を補填し、酪農業経営の安定を図る。
<b>事業内容</b>	①農家と国が掛金を半分ずつ負担して共済事業を行っている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳牛の死亡、廃用事故等が生じた場合に共済金を支払う。</li> <li>・乳牛の疾病及び傷害事故が生じた場合に共済金を支払う。</li> <li>・家畜共済の責任分担により、国及び兵庫県農業共済組合連合会へ保険料を納付する。</li> <li>・乳牛の疾病及び傷害の事故について、兵庫県農業共済組合連合会に家畜診療に係る技術料を納付する。</li> <li>・前年度の剰余金を基金へ積立て、支払共済金等の財源とする。</li> </ul>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	6,957	5,530	12,487	0	0	6,957	5,530	正規	0.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	15,527	5,510	21,037	0	0	15,527	5,510	再任用	0.30	その他	0.00
26決算	4,021	5,510	9,531	0	0	4,021	5,510	任期付	0.00	合計	0.90
27当初予算	15,853	5,940	21,793	0	0	15,853	5,940				

  

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	死傷共済金		1,569		負担金補助及び交付金
	負担金補助及び交付金	病傷共済金	199		負担金補助及び交付金	病傷共済金	1,754
	公課費	連合会に支払う保険料	320		積立金	前年度剰余金を基金に積立	400
	公課費	家畜診療技術料	1,933		公課費	連合会に支払う保険料	788
	積立金	前年度剰余金を基金に積立て	0		公課費	家畜診療技術料	4,705
	<b>合計</b>		4,021		<b>合計</b>		15,853

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-016	事務事業名	家畜共済事業	他 4 事業
------	----------------	-------	--------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	共済金支払額	乳牛の死廃及び病症事故に対して支払う共済金	千円	4,229	1,768	9,960
	<b>指標で表せない成果</b>					
農業共済は、農家が災害に備えて掛金を出し合い共同準備財産をつくり、災害が発生した時に共済金を支払うことで、農家の経営安定が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
酪農家が家畜の死廃や病傷事故によって被る損失を補てんし、農業経営の安定を図る有効な制度であり、今後も農業災害補償法で定める現行制度が続く限り、継続する必要がある。						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	園芸施設共済事業  他 3 事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 017		
		分割/統合	事業の統合				
<b>関連予算科目</b>	会計	農業共済事業	事業の分割/統合の内容	園芸施設保険料納付事業、園芸施設無事戻金交付事業、農業共済基金積立事業の統合			
	款	事業支出	事業所管課	産業振興部農水産課			
	項	園芸施設勘定支出	連絡先	(078)918-5017			
	目	園芸施設共済金	自治/法定	法定受託事務	開始年度	昭和 45 年度	
	事業	園芸施設共済金交付事業	根拠法令・要綱等	農業災害補償法、明石市農業共済条例、明石市農業共済事業基金条例			
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-2 農業の振興	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他
<b>個別計画</b>	農業基本計画		委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	施設園芸農家
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	施設園芸農家が不慮の事故によって受ける損失を補填して、農業経営の安定を図り、農業生産力の発展に資する。

<b>事業内容</b>	①農家と国が掛金を半分ずつ負担して共済事業を行っている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害等による園芸施設や内作物などに被害が生じた場合に共済金を支払う。(H27より復旧費用補償が追加)</li> <li>・被害が少ない農家に無事戻金として、共済掛金の一部を返還する。</li> <li>・園芸施設共済の責任分担により、国及び農業共済組合連合会へ保険料を納付する。</li> <li>・前年度の剰余金を基金に積立、園芸施設共済不足金及び無事戻金の財源とする。</li> </ul>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	85	2,000	2,085	0	0	85	2,000	正規	0.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
26当初予算	1,369	5,510	6,879	0	0	1,369	5,510	再任用	0.20	その他	0.00
26決算	152	5,510	5,662	0	0	152	5,510	任期付	0.00	合計	0.40
27当初予算	1,362	2,320	3,682	0	0	1,362	2,320				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	負担金補助及び交付金	園芸施設共済金	25		25	負担金補助及び交付金	園芸施設共済金
負担金補助及び交付金	園芸施設共済無事戻金	30	30	負担金補助及び交付金	園芸施設共済無事戻金	180	
公課費	連合会に支払う保険料	81	81	積立金	前年度剰余金を基金に積立	50	
積立金	前年度剰余金を基金に積立	16	16	公課費	連合会に支払う保険料	312	
	<b>合計</b>		152		<b>合計</b>		1,362

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-017	事務事業名	園芸施設共済事業	他 3 事業
------	----------------	-------	----------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	共済金支払額	園芸施設が自然災害により受ける損失に対して支払う共済金	千円	0	25	820
	指標で表せない成果					
農業共済は、農家が災害に備えて掛金を出し合い共同準備財産をつくり、災害が発生した時に共済金を支払うことで、農家の経営安定が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
施設園芸農家が自然災害や病虫害等の不慮の災害によって被る損失を補てんし、農業経営の安定を図る有効な制度であり、今後も、農業災害補償法で定める現行制度が続く限り、継続する必要がある。						

## 平成27年度 事務事業点検シート

事務事業名 一般管理事務(農水産課分) <span style="float: right;">他 6 事業</span>		新規/継続	継続事業	整理番号	0150003000 - 018		
		分割/統合	事業の統合				
関連予算科目	会計	農業共済事業					
	款	業務支出					
	項	業務勘定支出					
	目	一般管理費					
	事業	一般管理事務事業					
施策分野		3 産業・観光分野					
		3-2 農業の振興					
個別計画		農業基本計画					
事業の目的	対象(誰を・何を) 農業共済加入者						
	意図(どういう状態にしたいのか) 農業は自然に支配されることが大きい産業であり、種々の災害により生じた損害を個々の農家で回復することは大変困難であるため、公的保険制度を実施することにより、被災農家の経営を安定させ、農業生産力の発展に資する。						
事業内容	①農業共済事業を実施するために必要な一般経費。 ・水稲共済の損害評価にかかる経費。 ・水稲の病虫害を未然に防止するため、水稲損害防止事業として実施する一斉防除用薬剤費用の一部を助成する。 ・乳牛の共済事故等の被害率を最小限にするため、繁殖障害等の特定損害防止事業の実施を県連合会に委託して実施する。 ・兵庫県農業共済組合連合会に支払う水稲、家畜、園芸施設の各共済事業の事務費賦課金						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	2,676	2,415	5,091	0	0	2,676	2,415	正規	0.35	アハハ	0.00
26当初予算	3,808	5,510	9,318	0	0	3,808	5,510				
26決算	3,111	5,510	8,621	0	0	3,111	5,510	再任用	0.10	その他	0.00
27当初予算	3,545	3,210	3,545	0	0	3,545	0	任期付	0.00	合計	0.45

  

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	損害評価会委員報酬	179		報酬	損害評価会委員報酬	495
報償費	水稲共済掛金納付組合報償費 農業共済協力員報償費	424	報償費	水稲共済掛金納付組合報償費 農業共済協力員報償費	463		
旅費	近接地旅費	6	旅費	近接地旅費	36		
需用費	消耗品費等 食糧費、備品購入費	449	需用費	消耗品費等 食糧費	330		
負担金補助及び交付金	農業共済事務費賦課金 187 水稲損害防止費補助 など 538	984	負担金補助及び交付金	農業共済事務費賦課金 水稲損害防止費補助など	1,080		
その他		1,069	その他		1,141		
合計			3,111	合計			3,545

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150003000-018	事務事業名	一般管理事務(農水産課分)	他 6 事業
------	----------------	-------	---------------	--------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
農業共済事業(水稲、家畜、園芸)を実施し、水稲損害評価や損害防止の取り組みなど、農家の経営安定に寄与している。						

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	<b>観点 (満たしていない観点に「×」)</b>					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
農業経営者が自然災害、病虫害や家畜の共済事故によって被る損失を補てんし、農業経営の安定を図る有効な制度であり、今後も農業災害補償法で定める現行制度が続く限り、継続する必要がある。						

# 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	天文科学館運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150004000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	産業振興部市立天文科学館			
	<b>項</b>	商工費			<b>連絡先</b>	(078)919-5000		
	<b>目</b>	天文科学館費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 35 年度
	<b>事業</b>	天文科学館運営事業						
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-4 観光の振興	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立天文科学館条例、博物館法					
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
		委託			指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	入館者（幼児からシルバー世代まで）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	観光施設・社会教育施設としての積極的な事業展開を行うとともに館の効率的な運営を図り、入館者の増加と満足度の向上を図る。

<b>事業内容</b>	<b>【平成25年度実績】</b>	①平成24年8月29日に稼働日本一を達成したプラネタリウム投影機の希少性をアピールするとともに、プラネタリウム生誕90周年も織り交ぜ、年間を通して様々なイベントを展開した。 ②シゴセンジャーイラスト大賞を実施した。（報償費：165千円） ③こども向け展示解説リーフレットを作成した。（需用費：263千円）
	<b>【平成26年度実績】</b>	①ドームの椅子取替工事を終え、平成26年3月15日にリニューアルオープンした長寿日本一のプラネタリウムをアピールするため、年間を通じて様々なイベントを展開した。 ②外国人来館者向けに、英語版、中国語版、韓国語版の館内案内パンフレットを作成した。（委託料：238千円） ③シゴセンジャーイラスト大賞やシゴセンジャーキャラ弁コンテストを実施した。（報償費：92千円）
	<b>【平成27年度見込み】</b>	①ミュージアムショップ販売用として、開館55周年及びシゴセンジャーデビュー10周年の記念グッズを製作する。 ②天文科学館のさまざまな取り組みや天文学・宇宙科学の最新情報を発信・広報するため、館広報誌「星空のレンピ」を発行する。（年6回、毎回7,000部） ③全国の博物館等が開催する研修会や総会に参加し、積極的に情報交換を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	10,177	21,872	32,049	0	0	7,652	24,397	正規	2.74	パート	0.00
26当初予算	12,358	22,968	35,326	0	0	7,861	27,465	再任用	0.10	その他	0.00
26決算	10,287	22,968	33,255	0	0	7,714	25,541	任期付	1.60	合計	4.44
27当初予算	16,885	26,968	43,853	0	0	8,638	35,215				

26年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	シゴセンジャーイラスト大賞及びキャラ弁コンテスト賞金等	237		報償費	ブラック星博士がジャレ大賞賞金及びポスターデザイン等	224
旅費	全国博物館協議会総会（東京）、日本プラネタリウム協議会総会（東	415	旅費	全国博物館協議会総会（東京）、日本プラネタリウム協議会総会（前	428		
需用費	プラネタリウム番組用懸垂幕、館広報誌、販売用星座クリアファイル等	5,365	需用費	プラネタリウム番組用懸垂幕、館広報誌、シゴセンジャー10周年記念グッ	7,220		
役務費	電話料金、新聞広告料、案内看板掲出料、行事保険等	2,788	役務費	電話料金、新聞広告料、案内看板掲出料、行事保険等	3,210		
委託料	館内案内パンフレット外国語訳（英語・中国語・韓国語）編集業務委	594	使用料及び賃借料	電子コピー使用料、券売機リース料、レジスター賃借料等	5,300		
その他	電子コピー使用料、券売機リース料、日本博物館協会費等	888	その他	日本博物館協会費、日本プラネタリウム協議会総会費参加費等	503		
<b>合計</b>			10,287	<b>合計</b>			16,885

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150004000-001	事務事業名	天文科学館運営事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	入館者数	入館者数	人	124,150	131,036	132,000
	グッズ等売上代金	オリジナルグッズなどミュージアムショップの売上代金	千円	1,747	1,859	2,200
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアで取り上げられることによる広報宣伝効果。</li> <li>・話題性のある天文科学館のオリジナルグッズ(軌道星隊シゴセンジャー関連グッズなど)を製作し好評を得、そのグッズを買い求めに来館するという好循環が期待できる。</li> </ul>						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・天文科学館を全国にPRし来館者数を増やす手段として、魅力あるオリジナルグッズ製作や各種イベントの実施は極めて有効である。今年度については、開館55周年及びシゴセンジャーデビュー10周年の記念オリジナルグッズの製作や、「ブラック星博士大賞」等のイベントを予定しているが、今後も足を運ぶきっかけとなるような魅力的なオリジナルグッズや楽しいイベントを計画・実施し、それを積極的に広報することにより、館PRに繋げていく。</li> <li>・H25年度からの高校生以下観覧料無料化に伴い、全国から中学生・高校生の来館者が増えている。今後も広報活動を行い更なる集客力の強化を図っていく。ホームページやツイッター、広報あかしをはじめ、各新聞やミニコミ紙、雑誌記事等、無料広報手段を維持しながら、引き続き魅力ある天文科学館を広く発信していく。</li> <li>・今後とも、最小の経費で最大の効果を上げながら入館者ニーズに合わせ運営することを目指すとともに、入館者に満足してもらえるよう、開館期間、開館時間を柔軟に対応するなど更なる工夫を凝らした事業展開を進める。</li> </ul>						

## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	天文科学館施設維持管理事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150004000 - 002			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	産業振興部市立天文科学館			
	<b>項</b>	商工費	<b>連絡先</b>	(078)919-5000				
	<b>目</b>	天文科学館費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 35 年度		
	<b>事業</b>	天文科学館施設維持管理事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立天文科学館条例、博物館法、建築基準法、消防法				
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野 3-4 観光の振興	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	天文科学館の施設及び設備全般 例 プラネタリウム投影機、プラネタリウムドーム、展示設備、空調設備、消防設備、自家用電気工作物など
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	入館者が、安全・安心・快適に施設を利用できるように、適正に維持管理する。

<b>事業内容</b>	<b>【平成25年度実績】</b>	①平成26年1月から3月までプラネタリウムドーム内の椅子の取替工事を行い、可動椅子やファミリーシートを新しく導入した。同時にタイルカーペットの取替、磁気ループ補聴システムの増設を行った。(工事費: 50,925千円) ②設置から15年が経過している受電設備の受電ケーブルの更新を行った。(工事費: 2,520千円)
	<b>【平成26年度実績】</b>	①設置から16年が経過し、一部に故障が見られる中央監視・ITV設備を更新するための設計委託業務を行った。(委託費: 1,933千円) ②空調機の冷温水ポンプの修繕を行い、適正圧力、適正容量に変更し省エネルギー化を実施した。(修繕費: 1,333千円)
	<b>【平成27年度見込み】</b>	①設置から17年以上経過している太陽望遠鏡制御装置や16階反射望遠鏡の修繕を行う。 ②平成18年度に設置し、画像の劣化が著しいプラネタリウムドーム投影用プロジェクターを更新する。 ③平成22年にオーバーホールしてから5年経過したプラネタリウムの整備点検を行う。 ④展示設備保守点検業務委託により、保守点検を行う。 ⑤館内での入館者対応のため、受付案内業務委託により受付案内を行う。 ⑥警備清掃業務委託により、館内及び駐車場警備、館内清掃業務を行う。

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	146,209	22,869	169,078	55,645	5,300	3,946	104,187	正規	1.93	パート	0.00
26当初予算	104,201	23,126	127,327	0	5,200	3,980	118,147	再任用	0.90	その他	0.00
26決算	93,487	23,126	116,613	0	2,900	4,352	109,361	任期付	0.40	合計	3.23
27当初予算	106,750	19,926	126,676	0	16,000	4,010	106,666				

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	冷温水ポンプ修繕、冷温水配管修理、光熱水費、プラネタリウム消耗品等	21,620		需用費	太陽望遠鏡制御装置修繕、光熱水費、プラネタリウム消耗品等	33,254
役務費	通信運搬費、メールサーバー使用料等	372	役務費	通信運搬費、メールサーバー使用料等	514		
委託料	受付案内業務委託、清掃警備業務委託、中央監視装置他更新工事委託	49,735	委託料	受付案内業務委託、清掃警備業務委託、プラネタリウム投影機整備点検等	48,064		
使用料及び賃借料	土地賃借料、駐車場賃借料	20,713	使用料及び賃借料	土地賃借料、駐車場賃借料	20,718		
備品購入費	パソコン更新(受付用・プラネタリウム解説台用・サーバー用)、自転車更	1,047	備品購入費	プラネタリウム用プロジェクター、ロビーチェア	4,200		
<b>合計</b>			93,487	<b>合計</b>			106,750

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150004000-002	事務事業名	天文科学館施設維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	施設設備の不具合による来館者に及ぼす重大な影響件数	施設設備の適正な維持管理ができていれば、入館者が安全・安心かつ快適に施設見学ができる。	件	0	0	0
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全かつ快適に施設見学してもらうことにより顧客満足度が上がり、リピーターが増える。</li> <li>・歳入増につながる。</li> <li>・時のまちあかしのシンボルとして価値がさらに高まる。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウム投影機については当面、整備を続けながら一日も長く使用できるようにする。H27年度にミニオーバーホールを実施する。またH32年の開館60周年に向けて、前年までに予備調査とオーバーホールを実施する。</li> <li>・プラネタリウム補助投影機や音響設備などを順次改修し、入館者の満足度を向上させる。</li> <li>・震災復旧工事から17年が経ち、設備の老朽化が随所にみられる。中央監視設備・ITV設備の更新をはじめ、空調設備の改修など設備の整備を順次行っていき、来館者にとって安心、安全な空間にする。</li> <li>・天体観測設備とICT設備等を整備し、「観光施設」、「科学館」の両面から明石を全国に広く発信する。</li> </ul>						



## 平成27年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	プラネタリウム・展示事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0150004000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	商工費		<b>事業所管課</b>	産業振興部市立天文科学館			
	<b>項</b>	商工費			<b>連絡先</b>	(078)919-5000		
	<b>目</b>	天文科学館費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 35 年度
	<b>事業</b>	プラネタリウム・展示事業						
<b>施策分野</b>	3 産業・観光分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立天文科学館条例、明石市移動式プラネタリウム事業実施要綱、博物館法				
	3-4 観光の振興			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>			委託			指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	入館者（幼児から高齢者まで）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	子午線の意義を人々に啓発し、時・宇宙・科学に関する知見を深める機会を提供する。また幅広い企画事業や展示の充実を図り、より多くの方の来館を促す。
<b>事業内容</b>	<b>【平成25年度実績】</b>	①プラネタリウム投影や夏休み特別展「君も宇宙飛行士展」などを開催した。 ②全国一斉熟睡プラネタリウムや全国カールツァイス巡りなど全国の科学館と連携した事業を実施し全国に発信した。
	<b>【平成26年度実績】</b>	①時をテーマとした博物館としてのアピール、充実を図り、時の記念日シンポジウムなどの事業を行った。 ②プラネタリウム稼働20000日などのイベントを行いプラネタリウム長寿日本一のアピールをおこなった。また特別展では明石観光大使のさかなクンに関連する展示や夕日の写真コンテストのような魅力ある特別展やイベントを実施した。 ③高校生以下を入館無料化したことを踏まえ、中学生や高校生を対象とした事業の実施に努めた。 ④天文ボランティアの資質の向上を図り、入館者がより身近に楽しめるよう、展示解説やキッズコーナーでの対応の充実に努めた。
	<b>【平成27年度見込み】</b>	①開館55周年事業（記念講演会や漏刻祭再現イベントなど）、シゴセンジャー10周年を実施し全国に発信する。 ②入館者により親しんでもらい、ニーズに応えられるよう、14階展望室の充実を図る。 ③冥王星探査や日本人宇宙飛行士などをテーマとし、時期に応じた魅力あるプラネタリウム投影をおこなうとともに充実した特別展（紙の宇宙博2015など）を開催し、入館者増につなげる。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				27年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
25決算	15,929	41,051	56,980	0	0	37,741	19,239	正規	5.33	アハハ	0.00
26当初予算	20,554	46,306	66,860	0	0	40,520	26,340				
26決算	19,348	46,306	65,654	0	0	41,080	24,574	再任用	0.00	その他	0.00
27当初予算	20,036	46,306	66,342	0	0	38,690	27,652	任期付	1.00	合計	6.33

26年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	27年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	天ボラ、投影用原画作成、天文講演会、特別行事出演者等謝礼	4,771		5,450	報償費	天ボラ、投影用原画作成、天文講演会、特別行事出演者等謝礼
旅費	投影及び特別展資料調査・収集旅費、学芸員研修旅費等	258	282	旅費	投影及び特別展資料調査・収集旅費、学芸員研修旅費等	282	
需用費	展示資料、天文・投影解説パンフレット、行事チラシ印刷等	3,719	3,802	需用費	展示資料、天文・投影解説パンフレット、行事チラシ印刷等	3,802	
役務費	展示資料、特別行事楽器運搬費天ボラ保険料等	471	370	役務費	展示資料、特別行事楽器運搬費天ボラ保険料等	370	
委託料	投影番組、さかなクンの研究室・お魚教室等委託、シゴセンジャーコスチューム製作	9,205	9,460	委託料	投影番組、展示室整備、漏刻祭再現事業、紙の宇宙博等	9,460	
その他	資料用展示ケース、補助投影機プロジェクター、シゴセンジャーイベント会場使用料等	924	672	その他	天体観測用超高感度カメラ、太陽系惑星セット、シゴセンジャーイベント会場使用料等	672	
<b>合計</b>			19,348	<b>合計</b>			20,036

## 平成27年度 事務事業点検シート

整理番号	0150004000-003	事務事業名	プラネタリウム・展示事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	25年度	26年度	27年度見込み
事業の成果	プラネタリウム投影	人気のプラネタリウムは国内現役最古の貴重なものである。非常に価値の高い投影機を用いて充実した魅力的な内容を来館者に伝えた回数を成果とする。	回	1,180	1,436	1,440
	出前講座、観望会、講演会、移動プラネタリウム等	市民文化の高揚を高めるため、星や宇宙に関する天文学や自然科学の情報を伝える出前講座など開催した回数を成果とする。	回	130	82	80
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時のまちあかしのシンボルとして価値がさらに高まる。</li> <li>・幅広い層に対する魅力ある事業の推進により、生涯学習施設の役割を担う。</li> </ul>						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時をテーマとした博物館としてのアピール、充実を図る。</li> <li>・科学系博物館としての実力を高め、観光資源としての魅力の向上につながるよう努める。</li> <li>・長寿日本一のプラネタリウムの機能を活かした投影を行う。また紙の宇宙博2015のような魅力ある特別展やイベントを実施することにより入館者増に努める。</li> <li>・天文ボランティアの資質の向上を図り、入館者がより身近に楽しめるよう、展示解説やキッズコーナーでの対応の充実に努める。</li> <li>・天文関連資料の収集をすすめ展示資料の充実を図る。</li> <li>・入館者により親しんでもらい、ニーズに応えられるよう、14階展望室の充実を図る。</li> </ul>						